



サステナビリティ 報告書 2024

発行：2025 年 9 月
日本語翻訳版



本報告書について

当社は、責任ある製品、プログラム、サービスの提供によって顧客と従業員をサポートする強靱でインクルーシブかつ持続可能な事業を推進しており、本報告書ではそうした当社の取り組みを紹介しています。また、本報告書では、2024 年 1 月 1 日から同年 12 月 31 日までの期間を対象とする Medline のグローバルなサステナビリティ目標の達成に向けた進捗についても、詳細に記述しています。

本報告書の内容は、主要な自主的サステナビリティ情報開示の枠組みに従い、当社の事業戦略に沿ったものです。さらに、当社の 2022 年グローバルマテリアリティ評価、および Medline の法的主体である Medline International B.V. (MIBV) の 2024 年ダブルマテリアリティ評価からも、情報を取得しています。これは、EU の企業サステナビリティ報告指令 (CSRD) に従ったものです。本報告書で使用する「マテリアリティ」(「サステナビリティ・マテリアリティ」と表記する場合もあり) および当社のサステナビリティ・マテリアリティ評価プロセスは、サステナビリティに関する重要度の高いテーマを指す目的で使われており、財務的マテリアリティのことを指したり、米国証券法などの特定の法律下におけるマテリアリティと同じ意味を持ったりするものではありません。本報告書

において、および当社のサステナビリティ戦略の決定において「マテリアル(重要) である」とみなされる課題も、当社の他の報告書を含むその他の目的においては「マテリアルである」とみなされない場合があります。

本報告書には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これには、当社のサステナビリティ戦略、事業戦略および長期戦略、志、目標、数値目標、コミットメント、計画、活動、取り組み、イニシアチブ、プログラム、調達および投資に関する記述・見積もり・予測が含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、予測または期待されるタイミング・結果・達成状況・影響に関連する記述も含まれます。将来の見通しに関する記述は、一般的に、次のような語句によって識別されます:「目指す」、「予想する」、「信じる」、「約束する」、「推定する」、「期待する」、「意図する」、「可能性がある」、「ミッション」、「計画する」、「予想する」、「すべきである」、「戦略」、「努力する」、「目標とする」、「するだろう」、およびこれらの派生形や、同様の将来または条件を示す表現。これらの記述は、その時点における当社の考え、期待、推定、および予想に基づくものであり、将来の業績を保証するものではありません。こうした記述は、多くのリスクや不確実性を免れません。その多くは予測困難で、当社がコントロールできる範囲を超えていることから、実際の結果がこうした将来の見通しに関する記述で示されたものとは大きく異なる可能性もあります。

これらの要因には、以下が含まれますが、これに限定されません: 技術やデータ (第三者のものを含む) の適切な機能、セキュリティ・

可用性への依存、当社が事業を展開または原材料を調達する米国その他地域における経済的・政治情勢 (インフレ、景気後退または不況を含む)、環境・健康・安全に関する広範な要件の遵守、提携・投資・パートナーシップまたは戦略的取引の遂行、または期待される利益の実現能力、ガバナンスに関する課題および規制 (気候変動、社会問題、サステナビリティに関連する事項を含む) およびこれらに対する法令・規制・ステークホルダーまたは市場の対応、関連法の遵守、広範な公衆衛生問題、悪天候、自然災害その他の重大な災害事象、資源および原材料のコスト、法令遵守および関連する法的要求または規制執行措置、労働争議、経営陣またはその他の主要人材の異動ならびに有能な人材の採用・確保・維持能力、顧客嗜好または需要の変化、当業界内および業界と比較した当社の将来の財務および営業の業績、ならびに本報告書および当社の他の公開物に記載されているその他のリスク。当社は、適用される法律または規制によって求められる場合を除き、本報告書内のいかなる将来の見通しに関する記述も更新、修正または撤回する義務を否認し、これを負いません。また、当該情報が現在も正確または完全であることについて、明示・黙示を問わず保証するものではありません。

本報告書に情報を記載することは、様々な基準、枠組み、および検討に基づく行為であり、そのテーマや情報が Medline の事業、戦略、見通し、業績、または財務状況にとって重要であるということ、あるいは Medline が他者に与える影響に関連して重要であるということを示すものではありません。本報告

書には他のインターネットサイトへのリンク、第三者への言及、あるいは公開情報が含まれますが、Medline が個別に検討、承認、または推奨しているとは限りません。こうしたリンクや言及は、本報告書が参照しているからと言って、本報告書の一部であるというわけではありません。こうした情報の正確性、合理性、あるいは完全性について、Medline はいかなる表明や保証を行わず、請け負うこともありません。情報を使用または掲載したことに、製品やサービスの推奨を示す意図はありません。本報告書は、元は英語で書かれ、その後、他言語に翻訳されました。英語版が正式な原本です。

関連性と有用性がある場合には、追加的な背景を知るために、比較可能な履歴情報および報告期間後の業績も提供されています。

当社の過去の報告書をご覧になりたい場合は、当社のサステナビリティ報告書ライブラリにアクセスしてください。

当社は、ステークホルダーの皆様からのフィードバックを大切にしています。本報告書に関するご質問やご意見があれば、sustainability@medline.com へお送りください。



目次



はじめに	1
本報告書について	1
2024 年のハイライト	3
リーダーシップと戦略	4
CEO メッセージ	5
サステナビリティ担当バイスプレジデントからのメッセージ	6
Medline について	7
当社の事業	8
受賞と評価	9
当社のサステナビリティ戦略	10
マテリアリティおよび重要課題	11
強固なガバナンス	12
サステナビリティガバナンス	14
倫理とコンプライアンス	15
エシカルソーシング	16
情報セキュリティ	18
気候レジリエンスと環境への取り組み	19
排出量管理	21
サプライチェーンのレジリエンス	22
エネルギー管理	24
環境経営	25

責任ある製品	26
製品の安全性、製品表示とマーケティング	28
製品のイノベーション	29
責任あるパッケージング	30
責任あるプログラム	31
人々とコミュニティ	33
従業員の健康と安全	35
従業員のウェルビーイングとメンタルヘルス	36
人材の確保と維持	37
従業員エンゲージメント	38
ビロッキング	39
コミュニティエンゲージメント	41
医療アクセスと適正な医療費	43
サプライヤーインクルージョン	44
補足情報	45
SASB コンテンツ索引	45
用語集	51



サステナビリティ報告書 2024
の PDF ファイルをダウンロード
するには、この QR コードを
スキャンしてください。

2024年のハイライト

2024 年、Medline のサステナビリティプログラムは、医療従事者とコミュニティをサポートする持続可能で強靱な医療サプライチェーンの構築に向けて、大きな前進を遂げました。当社はこの進歩を誇りに思います。サステナビリティガバナンスの強化や再生可能エネルギーの利用拡大、より責任ある製品の発売、コミュニティエンゲージメントの深化など、これらの成果は、当社の事業とパートナー企業の献身的な取り組みが反映されたものです。また、サステナビリティは互いに共有すべき責任であり、長きにわたる取り組みでもあるという当社の考えを、さらに強固にするものでもあります。この勢いに乗じて、当社の事業全体に意義ある影響を与え続けられることを楽しみにしています。



強固なガバナンス

全社的リスクマネジメント（ERM）システムへの投資

Medline 企業倫理・コンプライアンスプログラムの実行

贈収賄防止と腐敗防止に関する研修を実施

非財務データのガバナンス強化



気候レジリエンスと環境への取り組み

規制要件に準拠し、2 回目のグローバルカーボンインベントリの完了

グローバル気候リスクアセスメントの初回実施

太陽光エネルギー利用の増加

サプライチェーンのレジリエンスと製造能力が認められ、ダイヤモンドレベルの HIRC レジリエンスバッジが授与



責任ある製品

ReNewal ™を使った再処理を、6 つの新たな製品群に拡大

持続可能な手袋パッケージングのイノベーション、SmartBoX ™の販売開始

OptiView®、シカゴイノベーションアワード受賞

米国配送センターの 1 施設で、Ranpak 社の 100% 紙素材のパッケージングを試験的に採用



人々とコミュニティ

最も優れた雇用主として表彰

米国全体でインクルーシブ管理職研修を開始

ボランティア活動とコミュニティエンゲージメントを通して、草の根支援を継続

世界的な支援パートナーシップを通して、余剰の医療用品を寄付

リーダーシップと戦略

「Medline がいかんしてサステナビリティへの取り組みを強化してきたかについて、そしてすべての人々にとって世界をより良く、より健康なものにすることに当社が果たす役割について、私は誇りに思っています」

— Medline Industries, LP 最高経営責任者（CEO） Jim Boyle

この章でお伝えすること

- 5 CEO メッセージ
- 6 サステナビリティ担当バイスプレジデントからのメッセージ
- 7 Medline について
- 8 当社の事業
- 9 受賞と評価
- 10 当社のサステナビリティ戦略
- 11 マテリアリティおよび重要課題



CEOメッセージ

Medline では、サステナビリティをさらに広く事業に組み込み、顧客とコミュニティをサポートする方法にも大きく反映させています。当社は、サプライチェーンや製品開発から施設や物流に至るまで、包括的なアプローチを用いて、さらに強靱で責任ある企業を構築しようとしています。目指すべきは、顧客が目標を達成し、当社の事業や地球全体が長期的に健全であり続けることを支えられるような企業です。

Medline は、顧客に対して揺らぐことのないコミットメントと、強靱で先見性のあるサプライチェーンを有していることにより際立った存在となっています。顧客各社には、当社の重点的な取り組み、飽くなきイノベーション、そして信頼のおける実行力を理由として、当社を頼りにしていただいています。2024 年、当社のサプライチェーンが持つ強みが「医療産業レジリエンス・コラボレイティブ (HIRC)」¹ によって認められ、権威あるダイヤモンドレベルのレジリエンスバッジが授与されました。当社は、15 を超える施設で作業をサポートするため、1,800 台を超えるロボットを使って業務の改善を継続しています。さらに、こうした自動化技術の適用以降は、ピッキングの精度と速度の向上に取り組んでいます。こうしたイノベーションは、効率と信頼性の向上にとどまらず、サプライチェーン全体での廃棄物、エネルギー使用、および資源の管理を目指す、サステナビリティに向けた共同の取り組みも支援します。

2024 年は、革新的なイノベーションに加えて、多くの領域でサステナビリティを強化するための基礎を固めた年でした。中でも、コーポレートガバナンスとデータのガバナンスには、特に注意を払いました。昨年、当社のチームは自社のサプライチェーンにおいて 558 件のエシカルソーシング監査を実施し、さらに、193 件の独立した第三者によるエシカルソーシング監査にも参加しました。また、当社として初めてグローバルな気候リスクアセスメントを実施し、気候リスクの中でもピンポイントの領域で、リスクを軽減するための対策を講じることができるようになりました。これにより、気候リスクに対する配慮を日常の意思決定に組み入れることをさらに進め、事業全体における潜在的な将来のイノベーションの機会を特定できるようになりました。

顧客も、当社に頼ることによって、自らのサステナビリティ目標に向けた歩みを進めることができます。そしてこの分野こそ、当社の事業イノベーションが真の意味で際立つことができる場所です。Medline ReNewal は、埋め立て処分されてしまうような単回使用医療機器を再処理することを目的とした当社のプログラムです。これによって、病院や医療システムは、最高基準の安全と品質を維持しながらも、廃棄物を削減し、重要な器具の使用期間を延ばすことが可能になります。加えて、当社は環境フットプリント削減のための措置を今まさに講じつつあります。まず着手したのは、当社の製品の配送手段についてです。2,000 台を超える MedTrans 保有の全トラックに対して、動的なルート計画とトートカートの効率的な利用を実行することで、顧客側の効率化を支援しています。このイニシアチブにより、再利用可能なトートの日々の取り扱い数を減らし、当社の事業から生じる大気汚染を最小に抑え、管理することができるようになりました。

最後に、同様に重要なこととして、当社は引き続き従業員に関与させることを優先し、彼らがスキルを伸ばし、キャリアを成長させる機会を提供しています。こうした取り組みの成果は、彼らの反応にも表れています。当社は、隔年の全従業員エンゲージメント調査に加えて、その間の時期にパルスサーベイを、そしてキャリアの重要な節目にライフサイクル調査を実施しています。それらを通じて得た従業員の回答には、「自らの仕事でインパクトを生んでいると感じるだけでなく、職務を超えたインパクトを生む機会についても熱心に取り組んでいる」とありました。米国内では、1,200 人を超える従業員のボランティアによって、70 を超えるチャリティで約 7,200 時間のボランティア活動が行われました。このプログラムは、Medline がサービスを提供するコミュニティに対して、従業員が自らの時間と能力を提供することを支援するものです。私はこれを心から誇りに思っており、ワクワクした気持ちでその継続的な成長を見守っています。

Medline がいかにしてサステナビリティへの取り組みを強化してきたかについて、そしてすべての人々にとって世界をより良く、より健康なものにすることに当社が果たす役割について、私は誇りに思っています。当社の顧客、従業員、コミュニティに良い影響を与える新たな機会を見い出しながら、持続可能で倫理的かつ責任ある方法で医療へのアクセスを作り出すことを、当社は引き続き優先していく所存です。今後さらに多くの成功を共有できることを楽しみにしています。



Jim Boyle
最高経営責任者 (CEO)
Medline Industries, LP



¹: HIRC のレジリエンスバッジは、医療産業の標準であり、サプライヤーのレジリエンスを製品区分レベルで評価する、エビデンスに基づいたアセスメントです。さらに詳細な情報は、「責任ある製品」の章をご覧ください。

サステナビリティ担当バイスプレジデントからのメッセージ

より健康な世界を築くための第一歩は、個人の健康が環境の健全性から大きな影響を受けるということを認識することです。清潔な空気や安全な職場環境から、医療への信頼できるアクセスやコミュニティのリソースに至るまで、サステナビリティは、より良い健康アウトカムを達成し、公平性を進め、時間の経過と共により強靱な医療システムを構築することにおいて、極めて重要な要素となっています。当社は、医療従事者とコミュニティの両方をサポートする、持続可能で強靱な医療サプライチェーンの推進を目指しています。

2024 年には、このビジョンをさらにしっかりと支えるために、当社のサステナビリティへの取り組みを強化しました。データ管理を強化し、新たなサステナビリティリーダーを迎えて当社のチームを増強し、グローバルな気候リスクアセスメントを初めて実施しました。また、全社的なリスクマネジメント（ERM）チームとの連携を拡大することによって、新たな課題に取り組み、事業全体のレジリエンスを高めました。

当社は、医療と環境の健全性には一体的な関係があるという確信をもって、この取り組みを進めています。気候変動が健康に影響を及ぼす中²、排出量削減に取り組み、持続可能な設計を推進し、エシカルソーシングを強化しています。

当社のグローバルなサプライチェーンは、常にサステナビリティ戦略の基盤であり続けます。私たちは、顧客やサプライヤーと密接に協力して、労働と人権について高い基準を維持しています。本報告書では、当社がいかにして「サプライヤー行動規範」を適用するか、リスクアセスメントと社会的責任監査を実施するか、より強靱で責任ある供給ネットワークに投資するかについて、概要を述べています。

素晴らしいパートナー企業の存在なしに、これらすべてを達成することは不可能でした。当社の購買力を利用する形で、より多くの中小企業の参加を促しています。2024 年、当社初となるサプライヤーインクルージョン担当ディレクターを迎え、サプライヤーインクルージョンプログラム（SIP）を強化しまし

た。この取り組みにより多くのリソースを投資することによって、当社がサービスを提供する活気あるコミュニティを反映したサプライチェーンを構築しています。

2024 年、当社はさらに勢いをつけ、長期的な成功への基礎を築きました。私たちは、当社のプログラムを継続的な成長を目指すものとして位置付けました。また、業界全体のパートナー企業、仲間、そして顧客に対して、より持続可能な未来を築く動きにぜひ加わってほしいと呼び掛けています。

今後、当社は、自社の影響力の拡大と、事業全体へのサステナビリティの定着に注力します。2025 年以降は、当社のサステナビリティ目標の達成に向けた歩みを加速させるため、イノベーション、データに基づく意思決定、および柔軟なパートナーシップを強化していきます。医療を取り巻く状況が進化し、人々と地球の両方のために変革の推進に取り組むなか、私たちが持つレジリエンスと新たなチャンスをつかむ能力こそが、私たちの強みなのです。



Francesca Olivier
サステナビリティ担当バイスプレジデント
Medline Industries, LP



2：世界銀行（2024 年 11 月 16 日） 健康と気候変動：何もしないことの代償 (<https://www.worldbank.org/en/topic/health/brief/health-and-climate-change>)

Medlineについて

Medline は、臨 床・財 務・経営における成果向上を通じて、より良い医療を実現します。

Medline は、当社の幅広い製品ポートフォリオ、強靱なサプライチェーンと差別化された臨床ソリューションを通して、医療従事者が医療の提供と組織運営全体にわたる改善を推進することを支援しています。本社はイリノイ州ノースフィールドにあり、全世界で 43,000 人以上の従業員を擁し、100 を超える国で事業を展開しています。

当社は、エビデンスに基づく専門知識によって開発された業界をリードする製品と強靱なサプライチェーンソリューションの強力な組み合わせによって、これを実現しています。

これを達成するために、Medline は次の**6つのバリュー**に注力しています。

顧客志向を貫く姿勢：
私たちは、顧客の延長線上にある存在であり、顧客のニーズを予測し、その目標達成を支援します。

機敏さと柔軟性：
私たちは、迅速で決断力があり、変化する市場や顧客のニーズに素早く対応できる体制を整えています。

粘り強い問題解決：
私たちは、強靱で強い意志を持ち、必要なことを成し遂げるための忍耐力を持っています。

成功への推進力：
私たちは日々、自分たちの力量を発揮してバリューを証明することに、情熱を注いでいます。

目的を持った率直な対話：
私たちは、顧客との間にも従業員同士においても、信頼に基づく協働関係を築くことに尽力します。私たちはオープンかつ正直で、透明性を持って業務を遂行し、誠実に行動します。

関係性の重視：
私たちは、顧客との間にも従業員同士においても、信頼に基づく協働関係を築くことによって、成功を収めます。

主要な事実と数値


1966年
会社設立


255億ドル
2024 年売上


43,000人以上
全世界の従業員数

約33万5千点
広範なニーズを満たす
製品ラインアップ

Medlineブランド

 手術関連
ソリューション

 最前線医療

 ラボ関連製品
& 診断関連製品

顧客は当社に、適切な製品を適切な場所へ適切なタイミングで届けることを期待しています。

Medline は、こうした期待に応えようと日々努力を重ねています。当社は、あらゆる場面で、効率性、正確性、品質を優先し、これを可能にするために、サステナビリティを事業運営に組み込んでいます。また、環境への影響を低減し、サプライチェーンを強化し、パートナー企業が業績を損なうことなくサステナビリティ目標を達成できるよう支援するため、拡張可能で環境に配慮した取り組みの導入を目指しています。



当社の事業

We make healthcare run better®

Medline は、医療・手術関連製品とサプライチェーンソリューションをあらゆる医療の現場に提供する最大規模の企業です。³

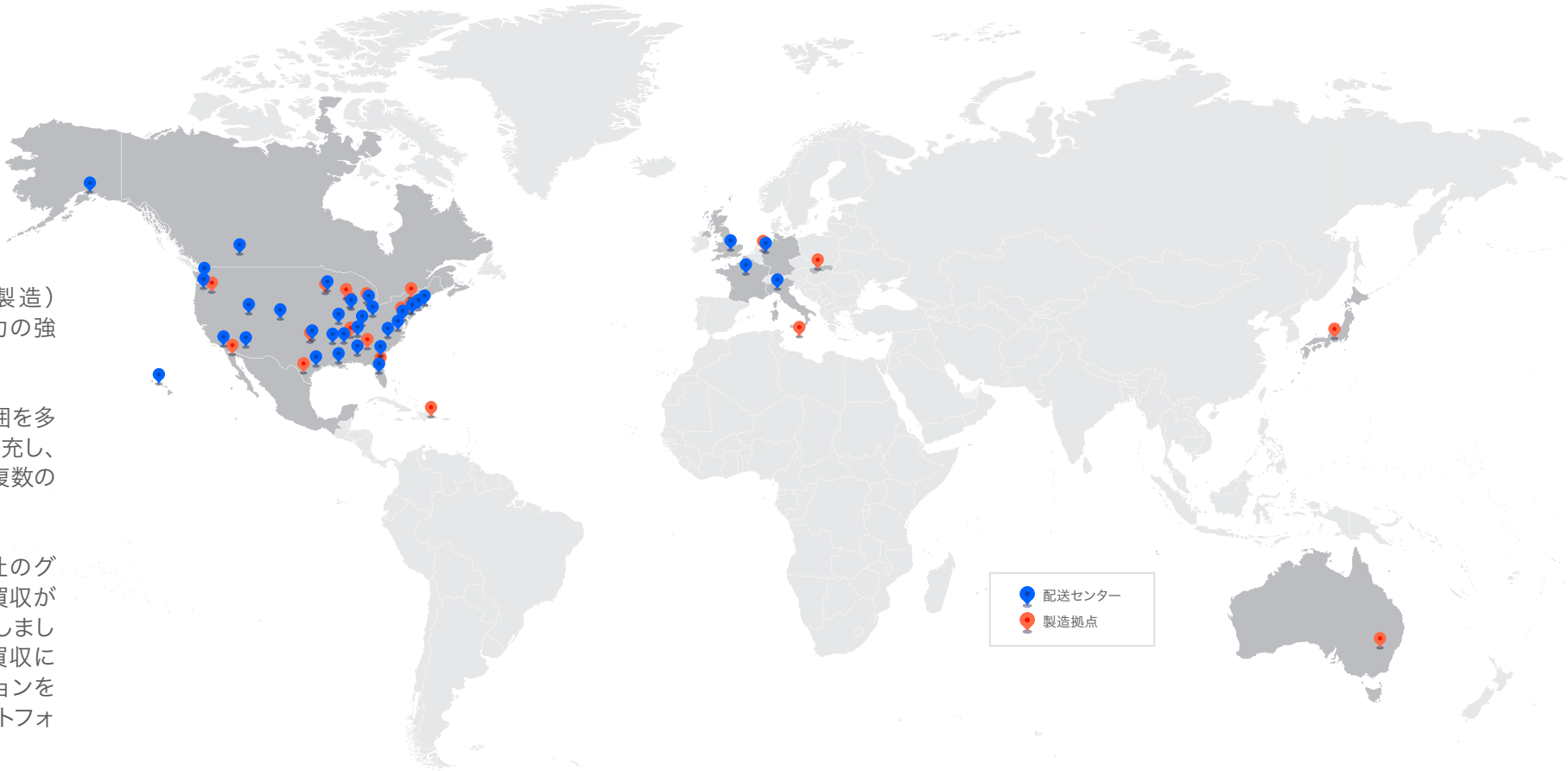
当社の統合型ビジネスモデル、起業家精神、包括的なソリューションは、顧客志向の企業文化に根差しています。顧客のニーズを迅速に捉えて対応することで、医療の成果向上を推進しています。約 19 万点におよぶ Medline ブランド製品と 14 万 5 千点のサプライチェーンソリューション製品は、米国の病院で広く使われています。また、100 を超える国々で、グローバルに事業を展開しています。

Medline は、世界中の医療システム、病院、急性期後医療施設、診療所、在宅医療提供事業者に向けて、幅広い医療・手術関連製品とサプライチェーンソリューションを製造・供給しています。

当社は、OEM（相手先ブランド製品製造）分野における顧客支援のため、対応力の強化を目指しています。

2024 年、当社は市場における活動範囲を多様化し、ポートフォリオと製品提供を拡充し、新たな専門知識を取り入れるために、複数の企業買収を実行しました。

この戦略の重要な例として、Ecolab 社のグローバルな外科ソリューション事業の買収が挙げられます。この契約は 8 月に成立しました。Microtek 製品ラインを含むこの買収によって、当社は実証済みのイノベーションを手に入れ、当社の手術室関連製品ポートフォリオがさらに拡充しました。



米国内に
45の配送センター*

米国内の倉庫面積は
2,600万平方フィート超

自動化への着実な投資：
15以上の施設で1,800台超のロボットが稼働

すべての拠点を示すものではない。データは 2024 年 12 月 31 日現在。
* 倉庫および配送施設を指す。

3：医療・手術関連製品の製造・販売の両方を行う企業による医療・手術関連製品の公表売上に対する、当社の 2024 年の売上に基づく。

受賞と評価

2024 年、Medline は、医療、サプライチェーン、職場文化、およびビジネスのリーダーシップに関する取り組みが認められ、数々の表彰を受けました。こうした評価は、当社チームによる貢献や、顧客をサポートしてレジリエンスを高め、インクルーシブで高パフォーマンスの職場環境を育てることに対する当社のコミットメントの反映と言えます。私たちは、医療におけるイノベーション、信頼性の高い企業活動、そして女性にとって優れた職場として、トップ企業の一つとして認められたことを誇りに思います。

- ・ Modern Healthcare の「ベストビジネスアワード」のサプライチェーン部門で、3 社受賞のうちの 1 社
- ・ 優れたサプライチェーンのレジリエンスに対して、ダイヤモンドレベルの HIRC レジリエンスバッジ
- ・ Newsweek による「米国で最も信頼できる企業」の 1 社
- ・ TIME による「2024 年世界で最も優れた企業」の 1 社
- ・ Forbes による「2024 年世界で女性が最も働きやすい企業」リストに掲載
- ・ Forbes による「米国の最も優れた大規模雇用主」リストに掲載
- ・ Becker's による「医療業界で働きやすい職場トップ 150」
- ・ 創傷ケアに対する革新的なアプローチである「HydroCore 使用 OptiView 透明皮膚用保護パッド」に対して、「シカゴイノベーションアワード」
- ・ 呼吸器療法への貢献に対し、AARC による「2024 年ゼニスアワード」
- ・ Forbes による「2024 年新卒にとって米国で最も優れた雇用主」
- ・ Forbes による「2024 年世界で最も優れた雇用主」



当社のサステナビリティ戦略

サステナビリティに関する Medline のミッションは、医療従事者とコミュニティをサポートする持続可能で強靱な医療サプライチェーンを推進することです。この目標の達成に向けて取り組むなかで、私たちは、質の高い治療を患者に迅速に提供したいという顧客のニーズと、当社の事業活動が環境や社会に与える影響とのバランスを取るという、特有の課題に直面しています。医療システムは、本質的に、資源を多く消費する慣行、単回使用の医療用品、そして患者が必要とするあらゆるものを瞬時に入手できる体制に依存しています。この業界は常に医療提供の緊急性を優先する一方で、私たちは地球に及ぼす影響を軽減する機会も見出さなければなりません。

Medline は、ケアギバーと臨床医が必要とするものを提供することによって、医療業界の支援に極めて重要な役割を果たしていることを誇りにしています。当社のサステナビリティへの取り組みの向上により、医療提供における体系的な改善を顧客に提供し、患者の良好な治療成果の維持をサポートすることが可能になります。

世界的な課題を踏まえ、規制の変化に対応しながら、当社のサステナビリティ戦略は、当社、顧客、そしてステークホルダーのために付加価値を生み出すことを可能にしています。また、責任ある環境への取り組み、社会に与える前向きな影響、そして適切なガバナンスの実践を維持するための指針を示しています。

当社の戦略は、サステナビリティの枠組みによって支えられています。この枠組みは、当社の戦略的アプローチ形成し、私たちのも公表と整合する 4 つの主要な柱に焦点を置いています。これらの柱は、サステナビリティを当社の事業に統合するための基盤を形成するものです。



強固なガバナンス

私たちは、求められたことだけでなく、正しいことを行います。また、当社の事業、従業員、およびサプライヤーに対して、高い倫理基準を遵守することを求めています。



気候レジリエンスと環境への取り組み

私たちは、天然資源を保護し廃棄物を削減するための実用的なソリューションを創出し、環境的に持続可能な事業基盤を構築しています。また、自らカーボンフットプリントを削減し、顧客も同様の取り組みを行えるよう支援することに尽力しています。



責任ある製品

私たちは、患者と環境の両方にとって安全で高品質な医療製品を提供することに力を注いでいます。また、製品ラベルの透明性を保ち、責任ある販売活動に携わるよう努めています。



人々とコミュニティ

私たちは、当社の従業員、コミュニティ、サプライヤー、そして顧客がそれぞれの可能性をフルに発揮できることを願っています。そのために、職場における高い水準の安全と健康を推進し、従業員のために関係形成と能力開発の機会を作り、帰属意識とエンゲージメントを促進し、当社が事業を行うコミュニティ、および世界中で健康の公平性に取り組んでいます。

マテリアリティおよび重要課題

サステナビリティの課題は当社の事業、従業員、および地球にとって最も重要な課題であり、Medline はこれを特定し、対応することの重要性を理解しています。こうしたインサイトは、サステナビリティ戦略を形作り、意義ある目標を設定し、有効な対策を実施することに不可欠です。

進化を続ける規制や計画上の優先順位との整合性を取るため、Medline では、3 年ごとにグローバルなサステナビリティ・マテリアリティ評価を実施する計画となっています。⁴ この評価では、主要なサステナビリティの枠組みとステークホルダーからのインプットを指針として、当社のグローバルなバリューチェーン全体におけるサステナビリティに関するテーマの関連性と影響を評価します。直近のグローバル評価は 2022 年に完了し、次回は 2025 年を予定しています。

2024 年には Medline 傘下の法人である Medline International B.V. (MIBV) 5 について、ダブルマテリアリティ評価も実施しました。これは、EU の企業サステナビリティ報告指令 (CSRD) に備えてのことです。Medline 初のサステナビリティステートメントの準備のため、欧州サステナビリティ報告基準 (ESRS) に沿って実施されました。


本評価では、以下について評価しています：

- MIBV の事業が環境と社会に与える影響
- 当該事業に対してサステナビリティ関連のリスクと機会が持つ財務的影響

本評価には、MIBV のバリューチェーン全体の包括的なマッピングが含まれ、コンプライアンス、法務、および財務の各部門で構成される部門横断的なチームによる支援を受けて実施されました。また、Medline の幅広い全社的リスクマネジメントの実践と一致するリスクベースのアプローチが適用されました。

Medline は、当社のグローバルな事業全体にわたるサステナビリティに関する課題を理解し、対処するために、体系的かつ積極的なアプローチを取っています。定期的なグローバルおよび法人単位のマテリアリティ評価をつうじて、規制動向やとステークホルダーの期待との整合性を確保しています。こうした取り組みにより、リスク管理、規制への準拠、そして事業と社会全体に対する長期的な価値創造を統合する、焦点を絞ったサステナビリティ戦略を形成することができます。

Medlineのマテリアルな（重要な）テーマ*




強固なガバナンス

企業倫理

データプライバシーとセキュリティ

エシカルソーシング



気候レジリエンスと環境への取り組み


大気排出

気候関連リスク

GHG（温室効果ガス）排出

廃棄物マネジメント

水および廃水マネジメント




責任ある製品

製品表示とマーケティング

製品の安全性

持続可能な製品・プログラム・パッケージング



人々とコミュニティ

ビロッキング

従業員エンゲージメント

従業員の健康と安全

医療アクセスと適正な医療費

サプライヤーインクルージョン

* 並びは優先順位を示すものではありません。

4：本報告書で使用する「マテリアリティ」という用語は、EU の企業サステナビリティ報告指令 (CSRD) に基づくダブルマテリアリティの概念を含め、グローバルな ESG の枠組みで定義されるサステナビリティ・マテリアリティを指します。これは、米国証券法、米国証券取引委員会 (SEC) への開示、および他の管轄の類似の法律で使われるマテリアリティの定義とは異なるものです。本報告書において、および当社のサステナビリティ戦略の決定においてマテリアル（重要）であるとみなされる事項も、SEC あるいはその他の報告書を含むこれ以外の目的においてはマテリアルであるとみなされない場合があります。

5：MIBV は、Medline のグローバル組織の一部を統括する親会社であり、欧州、日本、オーストラリア、およびアジアの一部の新興市場における当社の事業を含みます。

強固なガバナンス

Medline では、事業運営を導くシステムや基準の強化に継続的に取り組んでいます。誠実さ、透明性、そして説明責任は、長期的な価値を顧客に提供し、責任ある企業文化を育む事業の構築に不可欠であると私たちは考えています。

この章でお伝えすること

- 14 サステナビリティガバナンス
- 15 倫理とコンプライアンス
- 16 エシカルソーシング
- 18 情報セキュリティ



強固なガバナンス



Medline の成功は、誠実さと卓越性という強固な基盤の上に築かれています。こうした原則を重視する姿勢が、当社の事業に影響を与え、特徴付けるものになっています。

効果的なガバナンスは、組織全体に一貫して適用されるアクセス可能で客観的な方針と、明確な「期待される行動」の上に構築されるものであると私たちは考えています。

優先テーマ

企業倫理: 求められたことだけでなく、正しいことをしようと努めます。

エシカルソーシング: サプライチェーン全体にわたり人権を尊重し、その維持に努めています。

データプライバシーとセキュリティ: 個人を特定可能な情報を、そのライフサイクル全体にわたり保護するため、慎重な措置を講じています。

重要業績評価指標 (KPI)

- 人権および贈収賄防止・腐敗防止に関する研修を実施
- 2024 年に Medline の 4 施設が、HITRUST エッセンシャルズ、1 年(e1) の認証を取得
- 558 件のエシカルソーシング監査を Medline が実施

サステナビリティガバナンス

当社は、サステナビリティ戦略を強化し、事業の優先順位をより適切に反映させました。当社は注力分野を広げることによって、サステナビリティが当社の事業にもたらすリスクと機会を積極的に特定し、対応し、追跡しています。

2024 年、Medline の倫理・コンプライアンス部門は、正式なエンタープライズリスクマネジメント（ERM）プログラムを策定するための取り組みを開始しました。この取り組みは、Medline の企業コンプライアンス部門と法務部門が主導し、評価対象テーマとしてサステナビリティと気候リスクを含めています。この新しいプロセスに足並みを揃え、関連リスクを監視するため、サステナビリティチームはサステナビリティリスク委員会を設立する意向です。ERMシステムとサステナビリティリスク委員会のいずれもが、2025 年に稼働することになっています。

ガバナンスの構造

サステナビリティガバナンスと説明責任は、当社組織の最高レベルの位置づけで統合されています。取締役会、執行部の監督のもと、グローバルなサステナビリティチームからの支援を得て、私たちは、サステナビリティ戦略を主要な意思決定に組み込む努力をしています。また、透明性のある報告と、部門横断的な協働を通じて、当社のサステナビリティに向けた取り組みを推進しています。

取締役会および執行部：指導と監督

Medline の取締役会および執行部は、当社のグローバル戦略の監督機関であり、サステナビリティの課題に関する最高意思決定機関です。執行部のメンバーには、最高経営責任者、最高執行責任者、および最高財務責任者が含まれます。サステナビリティは、取締役会の議題であり、委員会レベルで討議されます。

エグゼクティブスポンサーおよびグローバルなサステナビリティチーム：戦略の策定と実行

Medline の最高法務責任者が、当社のサステナビリティの取り組みのエグゼクティブスポンサーの役割を果たします。この役割は、戦略的な監督を実施し、サステナビリティ担当バイスプレジデントが率いるグローバルなサステナビリティチームと密接に連携します。

グローバルなサステナビリティチームは、Medline の事業全体にわたる戦略を策定し、実行を推進します。これには、規制の変更の監視、ポリシーの更新、そして第三者基準との間に整合性の確保が含まれます。チームは部門横断的に連携し、施策の実施をサポートし、説明責任を促進し、報告の取りまとめを行っています。

サステナビリティチーム：アドバイスと整合

コーポレートサステナビリティチームは、当社のグローバル戦略が各地域のサステナビリティの取り組みにうまく反映され、各グローバル市場に合わせて調整できるよう、部門横断・地域横断のグローバル・アラインメント・チーム（GAT）を設立しました。GAT は、米国、カナダ、欧州・中東・アフリカ（EMEA）、

アジア新興市場、日本、オーストラリア・ニュージーランド（ANZ）、およびラテンアメリカ（LATAM）⁶ の代表者で構成されています。

データガバナンス

当社は、高品質な非財務データを当社の事業運営、コンプライアンス、そして企業評価を保つために不可欠であるとみなしています。この情報の管理を強化するため、信頼性の高い報告をサポートする新たなプロセス、ツール、および研修に投資をしてきました。2024 年、当社は引き続き以下の方法によって、データガバナンスのインフラストラクチャーを強化しました。

- ・非財務データのガバナンスを部門横断的に維持するための専任の役割を設置
- ・データ所有者およびその他の重要なデータ関連担当者の責任を明確にするため、データガバナンス教育の設計と強化
- ・データの完全性を促進するためのプロセスの構築
- ・将来の規制当局への報告を見据え、保証と管理のベストプラクティスとの整合性の強化

2025 年の初めに、当社初のサステナビリティコントローラーを迎えました。その役割は、会社全体においてデータオーナーシップの強化を支援することです。

私たちは、当社のサステナビリティ報告において、信頼され、完全で、確実で、追跡可能なデータを実現するという目標を推進するため、会社全体におけるデータオーナーシップの強化を優先し、推奨し続けることを目指します。



⁶：これらの事業セグメントおよび範囲設定は、サステナビリティに特化したものであり、Medline の年次財務諸表で使用されているものとは異なります。

倫理とコンプライアンス

当社のアプローチ

Medline は、当社の事業活動および顧客とのやりとりにおいて倫理的な行動を維持するために、方針と手順を継続的に改善し、徹底しています。これを達成するために、当社は Medline エンタープライズ倫理・コンプライアンスプログラムを導入しました。これは、誠実さ、倫理的意思決定、企業方針・手順、適用法令、その他の関連基準の遵守を重視する当社の企業文化を幅広く明確に示したものです。このプログラムは、当社の事業に関連する幅広い分野を対象としており、贈収賄防止と腐敗防止、医療専門家との関係、リスクベースのデューデリジェンス、データプライバシー、およびリスク管理を含みます。

倫理的なビジネス慣行、環境基準、リスク管理、職場の安全に関する方針は、事業上の役割と責任に合わせて作られた定期的な研修とプレゼンテーションによって、支えられています。第三者監査や充実した社内ポリシーライブラリを含む当社のアカウンタビリティ施策は、当社のコンプライアンスおよびガバナンス基準を強化しています。

贈収賄防止と腐敗防止

Medline は、事業文化や慣習の違いにかかわらず、世界中のすべての拠点や事業において、いかなる形態の賄賂の授受も禁じています。当社の贈収賄防止・腐敗防止 (ABAC) 方針は、米国海外腐敗行為防止法 (FCPA)、英国贈収賄禁止法を含む、当社が事業を行う地域で適用されるその他の ABAC 関連法令、規制、規則、または命令と整合しています。

腐敗リスクを管理するため、当社は以下を実施しています。

- 第三者に対するリスクベースのデューデリジェンス。第三者には、高リスク市場で事業を行う代理店、販売店、およびサプライヤーが含まれます。
- 医療従事者、政府役人、または第三者仲介業者 (TPI) との間に高リスクな相互関係を持つ役割にある主要な従業員、役員、および取締役に向けて特別に用意された ABAC 研修。
- 非倫理的なビジネス慣行を検知し、その防止を支援するための堅固な監視・報告メカニズム。

当社では、違反を疑われる行為があれば直ちに調査し、解雇や規制当局への報告を含む適切な懲戒処分を科すプロセスを確立しています。

行動・倫理規範

「Medline 行動・倫理規範」は、倫理的な行動や意思決定を行うための指針としての役割を果たし、成功は「何をするか」だけでなく「どのように行うか」によって決まるということを想起させてくれます。また、私たちが、企業としても個人としても、当社の中核をなす価値に沿い、当社が事業を行う地域で適用される法令や規制を遵守する、誠実で責任ある意思決定をできるように助ける働きもします。本規範は、Medline の全員に適用され、世界中のすべての拠点における当社の役員、すべての従業員、独立契約者、さらに取締役を対象としています。

当社は、他者を率いる立場の人間には、本規範が真に意味することの模範を実践で示す責任がある特別な地位にあるということ、を、認識しています。また、顧客、ベンダー、その他のパートナー企業に対しては、これら指針に対する当社のコミットメントを共有することを期待しています。

懸念の報告

当社の” Speak Up” (「声を上げよう」) 文化の一環として、従業員、サプライヤー、その他のステークホルダーは、Medline の「倫理・コンプライアンス報告ライン」を使って、不適切な業務遂行または非倫理的な行為に対する懸念を報告できる、秘密保持された倫理・コンプライアンス報告窓口を設けています。この報告窓口は、独立した第三者によって管理され、現地の言語で 24 時間 365 日利用可能です。当社は、懸念事項が率直に提起され、適切に対処される文化を奨励しています。透明性のある倫理的な職場を維持する上で、全員がその役割を果たすことが期待されています。



エシカルソーシング

当社のアプローチ

当社は、倫理的なビジネス慣行、責任ある労働基準、人権、および環境への責務への私たちの献身を共有できるサプライヤーと共に仕事をするを選びます。

当社の包括的な「エシカルソーシングプログラム」には、国際基準と業界のベストプラクティスが組み込まれ、自社に課しているのと同じ高い基準を、パートナー企業にも適用しています。

国際的には、Medline のグローバルソーシングオフィスが基準を実施し、当社のサプライチェーンにおける労働環境の安全性、労働者が敬意と尊厳をもって扱われ、製造業者が環境に対する責任を負うことを確保しています。

当社は、リスクベースのアプローチを取ることで、リソースをサプライチェーンの中で最も重要な領域に集中させています。当社のこのプログラムは、以下の3つの中核的要素に基づいたものです。

- 当社の「サプライヤー行動規範」によって明確な期待値を定め、パートナー企業のネットワーク全体にわたって透明性と説明責任を高めることを求めます。
- 当社のエシカルソーシング専門チームが、リスク評価、ソーシャルコンプライアンス監査、および是正措置の計画を継続的に実施し、サプライヤーが当社との関係全体にわたってこれらの基準を保っていることを確認します。
- 独立した第三者のツールや専門知識によって追加的なサポートが提供され、当社のエシカルソーシングチームが潜在的なリスク

を素早く効果的に特定し、対応できるようにしています。

規制の変化や顧客の期待の変化に対応しながら、当社は、労働と人権に関するグローバルな取り組みを継続的に進化させています。2024 年、当社は、サプライヤーのデューデリジェンスのプロセスを強化して、グローバルなコンプライアンスを向上させ、新たな規制やエシカルソーシング基準に整合させました。また、リアルタイム監視システムを使い、データの完全性を強化して、サプライチェーンの透明性を高めました。結果、当社のエシカルソーシングデータの効率と利便性が向上しています。

当社は、グローバルな事業全体にわたって、コンプライアンスリスクを軽減し、説明責任を果たすため、こうしたプロセスの改善を続けています。Medline は、環境に関するデューデリジェンスの取り組みを強化し、将来的には環境リスクに特化した新たなサプライヤー評価を開始する予定です。

プログラムの柱

当社のエシカルソーシングプログラムは、責任あるサプライチェーン管理を目指した包括的な取り組みです。11 の基礎となる柱に基づき、以下を通して当社の価値観を現実のものとしします。

- サプライヤーに対する明確な基準と期待
- パートナーシップの継続的な監視と評価
- 先を見据えたリスク管理戦略
- 健康、安全、労働者の権利、および人権を含む重要な課題についての定期的な教育と関与

当社のプログラムに影響を及ぼす基準

当社は、エシカルソーシングプログラムを通して、当社の事業とサプライチェーン全体で人権侵害を防止するためのたゆまぬ努力を続けています。当社のシステムと管理体制は、現代の奴隷制、強制労働、人身取引を特に対象としています。当社のプログラムは、以下の主要なソースからの基準と原則を組み入れています。

- 国連ビジネスと人権に関する指導原則
- 国際労働機関 (ILO)
- 世界規模の責任ある認定生産 (WRAP)
- ソーシャル・アカウンタビリティ・インターナショナル規格 SA8000®
- 経済協力開発機構 (OECD) 多国籍企業行動指針

人権保護とリスク管理への当社の取り組みについては、年に一度発表される「[現代奴隷制と透明性に関する声明](#)」の中で概説しています。この文書では、当社のグローバルな事業とサプライチェーンをどのように監視し、複数の規制によって設定された要件を満たしていることを、詳細に述べています。対象となる規制には、カリフォルニア州サプライチェーン透明化法、英国現代奴隷法、オーストラリア連邦現代奴隷法、カナダのサプライチェーンにおける強制労働及び児童労働撲滅法が含まれます。



エシカルソーシング (続き)

サプライチェーンにおける トレーサビリティ

当社のグローバルサプライチェーンは、Medline 所有の施設に加え、顧客に高品質な製品を提供する体制を支えるサードパーティーのメーカーおよびサプライヤーとのパートナーシップが含まれます。

一次サプライヤー（原材料、部品、または Medline ブランドの完成品を提供するサプライヤー）を対象に、当社の「サプライヤー行動規範」に準拠しているかどうかについて定期的に監視しています。当社の専門的な社会的責任監査と評価の実施を通して、潜在的なリスクを早期に特定し、対処することを目指しています。

より透明性の高いサプライチェーンを構築するということは、サプライヤーと緊密に協力して、当社の「サプライヤー行動規範」に記された原則を上流へ浸透させていくことを意味します。サプライヤーに対しては、国際的に認められた基準を考慮に入れつつ、自らの基準を高めて労働条件を改善すること、環境に及ぼす負の影響を最小限に抑えること、常に倫理的なビジネス慣行を実践することを期待しています。

当社のエシカルソーシングチームは、中国にある当社のグローバルソーシング組織と連携し、この上流デューデリジェンスを実行しています。その際、高リスクの材料と地域に戦略的に重点を置いています。当社の中国のチームは、上流のサプライヤーに関する詳細な情報を集めます。この目的は、Medline ブランド製品のための追跡可能なサプライチェーンを作ることと、すべての工程で「サプライヤー行動規範」の遵守を促進することです。

クリティカルマテリアル関連の リスクの把握

当社は、当社のサプライチェーンにおいてクリティカルな原材料に関連するリスクを特定し、対処することに、積極的に取り組んでいます。当社の品質保証チームは、開発およびオンボーディング段階で、以下のようなプロセスを通して、すべての Medline ブランドサプライヤーの審査を実施します。

- 原材料と製造プロセスに関する詳細な話し合い
- 製品の組成の包括的な文書化
- 潜在的なリスクを特定するための査定と評価

当社のグローバルな戦略的パートナーシップを用いて、労働者の安全と健康に影響を及ぼす可能性のある状況を、厳密に監視し続けます。以下の状態にあるサプライヤーと仕事をする際には、特に警戒を高めます。

- 弱い立場の労働者が搾取のリスクにさらされやすい産業。綿花生産、ゴム加工、木材伐採、鉱物採掘など。
- 身体的負荷または安全上の懸念を伴う職務。潜在的に危険な化学物質を扱う仕事、または産業設備の操作など。
- 第三者の人材派遣会社を通じて臨時または契約労働者を使用する業務
- 現地の労働基準が、当社の倫理的要件を満たさない可能性のある地域

WRAPプログラム

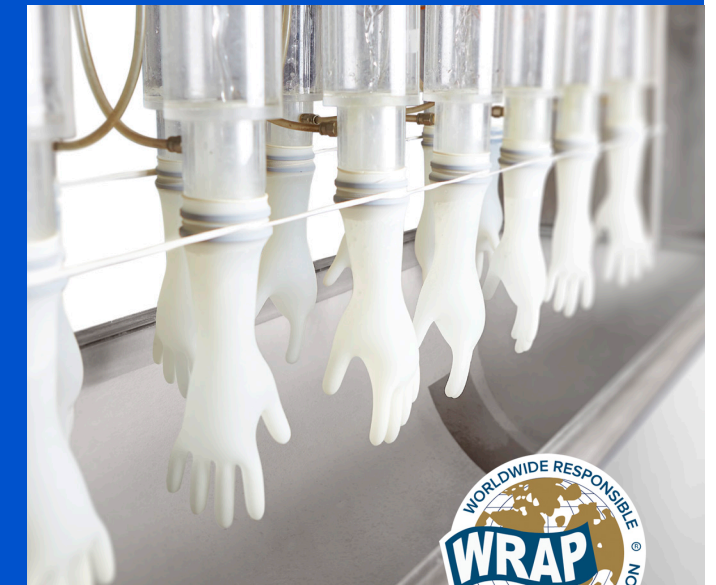
エシカルソーシングに対するコミットメントを基礎として、当社は、「Worldwide Responsible Accredited Production（世界規模の責任ある認定生産（WRAP））」とのパートナーシップをサプライチェーン全体で統合しました。この複数年にわたる取り組みの中で、当社サプライチェーン内の適格な一次サプライヤーに対して、WRAP 認証を受けることを奨励しています。

WRAP プロジェクトは、最初の段階として、Medline ブランドのウェアラブル、防護服、および医療用テキスタイルのサプライヤーを対象とし、サプライチェーンにおける労働者の権利および人権を積極的に監視し、促進することで、当社の社会コンプライアンスプログラムを強化し、拡大することを目指しています。

2024 年末時点で、当社のサプライヤー約 30 社が WRAP 認証を受けました。

当社のエシカルソーシング基準は、ソーシャルコンプライアンス監査のための WRAP の 12 原則と連携しています。この原則は、国連ビジネスと人権に関する指導原則、経済協力開発機構（OECD）多国籍企業行動指針、および国際労働機関（ILO）の国際的に認められたガイドラインに沿ったものです。

2025 年に 25 周年を迎える WRAP は、繊維・アパレル業界を対象とした、世界最大の独立系ソーシャルコンプライアンス認証プログラムです。この組織との継続的な連携を通して、当社は医療機器産業への認証プロトコルの拡大を図っています。



情報セキュリティ

当社は、顧客のプライバシー、企業資産の保護、当社の情報への不正なアクセス、使用、開示の防止を最優先事項と考えています。そして、[米国国立標準技術研究所](#) (NIST) のサイバーセキュリティフレームワークに基づき、顧客情報と当社の事業運営を守るために設計された包括的なサイバーセキュリティプログラムを導入しています。

当社は、フィッシングやランサムウェアから、データ漏洩や DDoS (分散型サービス拒否) 攻撃に至るまで、医療におけるサイバー脅威の進化する性質を理解し、対応しようとしています。脅威アクターがその作戦を強化するために生成 AI の活用を拡大する中、当社はさらにその先を歩み続けることを目指して、防御を強化しました。

当社のセキュリティに対する取り組みは、「多層防御」の原則に基づいています。これは、IT インフラ全体にわたって、複数の保護バリアを構築するように設計されたものです。この保護対策には、ID とアクセスの管理、脆弱性監視、エンドポイント保護、ネットワークセグメンテーション、イベントトラッキング、そして従業員の研修が含まれます。

予防を重視しながらも、必要な時には迅速かつ包括的に対応できるようプログラムを設計しています。当社の対応計画は、システムを迅速に回復させ、医療機関へのサービスを中断させないように考えられています。強固な防御を推し進めるため、当社は、独立した監査、評価、ペネトレーションテストを通じて、プログラムの有効性を定期的に検証しています。

データプライバシー

当社は、社員、顧客、およびパートナー企業の個人データを細心の注意を払って保護しています。Medline のサイバーセキュリティへの取り組みは、強力なプライバシー保護とイノベーションのバランスを取ることを意図しています。

この枠組みは世界のプライバシー関連法規と統合され、一貫したプライバシー基準の策定を容易にします。当社がこの方法を選んだのは、プライバシーの要件とリスクに対応しやすくなるからです。⁷



7: NIST プライバシーフレームワークは、共通の構造と言語を提供し、組織が自らの管轄地域における様々な法的・規制要件に適合できる仕組みを備えています。

気候レジリエンスと環境への取り組み

当社は、自らの環境影響を低減し、顧客も同じ取り組みができるように支援する方法を探りつつ、より持続可能な未来を構築することに力を注いでいます。また、イノベーションと進化する環境活動を通して、自らのカーボンフットプリントを低減し、自然資源を保護することを目指しています。こうした取り組みは、当社のグローバルなサプライチェーン全体に拡大するように設計されています。そうすることで、サステナビリティが将来の当社の事業に確実に組み込まれ、社員、顧客、そして当社がサービスを提供するコミュニティに利益をもたらします。

この章でお伝えすること

- 21 排出量管理
- 22 サプライチェーンのレジリエンス
- 24 エネルギー管理
- 25 環境経営



気候レジリエンスと環境への取り組み



気候変動は、環境と人間の健康の両方に、大きな影響を及ぼしています。⁸ Medline は、この問題に真正面から取り組み、再生可能エネルギーの使用を拡大し、当社の事業に対する潜在的な気候リスクを評価し、顧客が排出量と廃棄物を削減することを支援しています。その一方で、サービスを提供するコミュニティへの高水準の医療の提供を維持しています。

優先テーマ

気候関連リスク: 気候関連リスクを定期的に評価し、対応する計画を立てています。

GHG (温室効果ガス) 排出量: 当社はカーボンフットプリントを削減し、顧客も同様の取り組みができるように支援することを重視しています。⁹

大気排出: 地域および連邦の要件に沿って、大気質に及ぼす影響の管理に努めています。

廃棄物マネジメント: 廃棄物に関連する環境影響を低減するため、方針とプログラムの構築に取り組んでいます。

水および廃水マネジメント: 水消費量と廃水発生量の削減に取り組んでいます。

重要業績評価指標 (KPI)

- 2024 年 CO₂e 絶対排出量 5,085,303 (tCO₂e)
- スコープ1 GHG 排出量 133,225 (tCO₂e)
- スコープ2 GHG 排出量 141,256 (tCO₂e)
- スコープ3 GHG 排出量 4,810,822 (tCO₂e)
- 当社施設内の自動化をサポートする 1,800 台を超えるロボット
- ソーラーパネル全世界で 66,000 枚超に到達。米国、欧州・中東・アフリカ (EMEA)、オーストラリア・ニュージーランド (ANZ)、および日本の設備を含む。
- 全世界で ISO 14001 認証施設 11 カ所
- LEED 認証施設 25 カ所

8: ランセット・カウントダウン第 404 巻第 10465 号 (2024 年)。健康と気候変動: 対策の遅れにより記録的な脅威に直面。(https://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736(24)01822-1/abstract)

9: 他の一般的な用語で GHG (温室効果ガス) 排出量を表すものは、「炭素排出量」。また、組織による活動は、カーボンフットプリント、GHG インベントリ、またはカーボンインベントリと呼ばれることがある。

排出量管理

気候リスクの軽減

Medline は、気候変動が当社の顧客、患者、およびコミュニティに及ぼす影響が増大していることを理解しています。また、気候変動が当社の事業や、ビジネスのその他の側面に影響を及ぼしうることも理解しています。これこそが、こうした課題に積極的に対応できる強靱で未来志向の組織の構築を当社が重視する理由です。

気候関連リスクと機会に対する理解を深めるため、当社は第三者と提携し、年に一度の気候リスク評価を初めて実施しました。ここでは、気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) を指針とし、定性的シナリオ分析を用いて、主要な気候リスクと機会を特定しました。これは、2025 年の初めに Medline 経営陣に提示され、長期計画に反映されました。

このリスク評価をすることで、一貫した評価を行うための枠組みが提供され、正式な脱炭素戦略を確立させる際に必要となるツールを得ました。今後、年に一度の気候リスクの物理的評価の実施を計画しており、さらに当社の全社的リスクマネジメントの枠組みに沿って、気候リスク管理手順を策定する予定です。これにより、特定されたリスクに対応し、機会を十分に活用するための、具体的な措置を取ることができるようになります。

排出量管理

2023 年、当社は、すべてのスコープにまたがるグローバルな GHG（温室効果ガス）インベントリを初めて作成しました。これにより、定量化が必要な活動や当社のデータの限界について、貴重な学びを得ることができました。2024 年には、この学びを活かして当社のデータ収集プロセスを改善し、追加のリソースに投資を行いました。¹⁰

当社の事業が気候変動にどのように影響を与えるかをより明確に理解し、気候リスク評価から学びを得たことによって、リスクと影響の両方を優先し、よりターゲットを絞った脱炭素化計画を策定するために、必要とする情報を得ることができました。

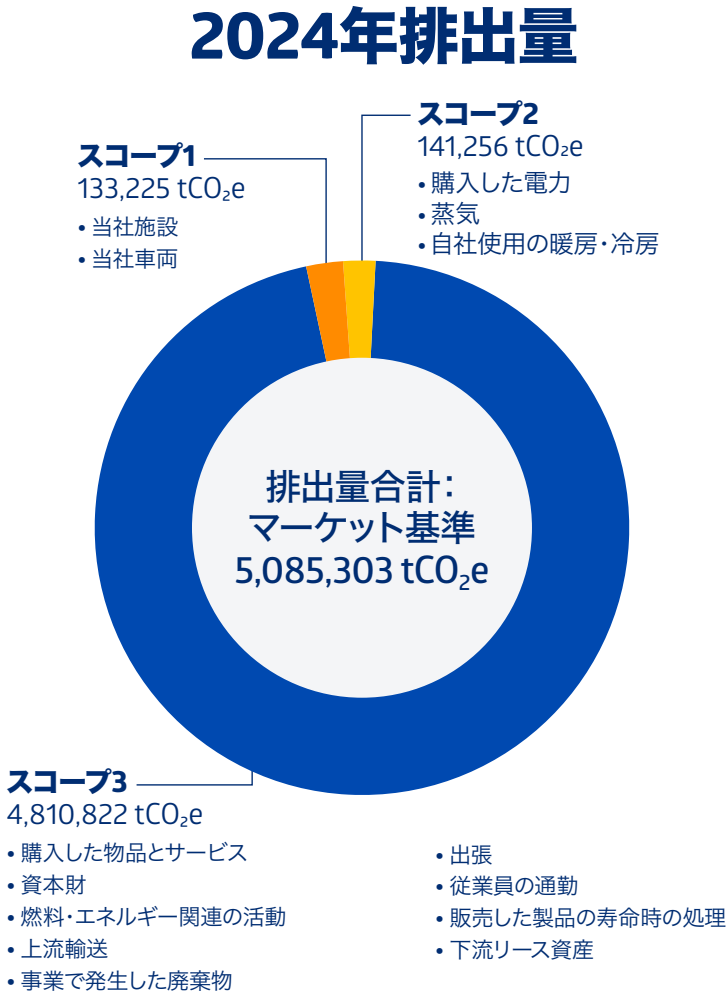
フットプリントについてスコープ 3 の占める割合が他より大きいところではありますが、当社は引き続きスコープ 1 とスコープ 2 の排出量への対策を優先します。自社事業において脱炭素化戦略を実施しながら、そこで得た学びを主要なスコープ 3 区分にも適用していきます。

当社のスコープ 3 を増加させる主な要素は以下のとおりです。

- 購入した物品とサービス
- 販売した製品の寿命時の処理
- 輸送と流通

引き続きデータと専門知識を蓄積しながら、測定の精度を高め、脱炭素化への道程について、より情報に基づいた影響力の強い意思決定を行うことを目指しています。¹¹

スコープ	マーケット基準 排出量 (tCO2e)	マーケット基準 排出量の比率 (tCO2e) ²
スコープ 1	133,225	2.62%
スコープ 2	141,256	2.78%
スコープ 3 ¹²	4,810,822	94.60%
3.1 購入した物品とサービス	3,139,075	61.73%
3.2 資本財	66,004	1.30%
3.3 燃料・エネルギー関連の活動	63,343	1.25%
3.4 上流輸送	453,767	8.92%
3.5 事業で発生した廃棄物	10,601	0.21%
3.6 出張	82,013	1.61%
3.7 従業員の通勤	76,975	1.51%
3.12 販売した製品の寿命時の処理	917,680	18.05%
3.13 下流リース資産	1,365	0.03%
総計	5,085,303	100.00%



10：Medline の GHG 計算方法は、2024 年に更新されました。

11：カテゴリ 3.10、3.11、3.14、および 3.15 は、スコープ 3 のスクリーニング中に関連性がないとみなされたため、報告に含めませんでした。カテゴリ 3.8 は、スコープ 1 とスコープ 2 で報告しています。カテゴリ 3.9 については、このカテゴリに重要な活動があると判断するに足りる情報を集めたのですが、下流のデータの可視性が十分でなかったため、本年は報告することができませんでした。

12：昨年はカテゴリ 3.1「購入した物品とサービス」に含めていたデータの一部を再分類し、カテゴリ 3.4 に移動させました。GHG プロトコルのガイダンスに基づくと、このカテゴリの方に整合性があると考えたためです。

サプライチェーンのレジリエンス

Medline のサプライチェーンは、機敏性とレジリエンスを備えており、当社はその強化を継続します。製品の配送方法を改善しつつ、環境影響の低減にも取り組んでいます。効率と排出量削減は、密接に関連しているからです。

当社の米国内ネットワークには、45 カ所の配送センターが含まれており、2,600 万平方フィートを超える倉庫スペースを備えています。インベントリの健全性を監視し、需要を予測し、製品を将来最も必要とされる場所に動かすために、高度な分析を活用する手段を講じました。また、当社の事業全体にわたって自動化への投資も継続しています。15 を超える施設に私たちの仕事をサポートする 1,800 台超のロボットを配備して、倉庫の効率を高めるための自動化をすでに実施しています。

効率を高めるもう一つの方法は、米国内の MedTrans の保有車両を通して、自社輸送ネットワークを管理することです。こうすることにより、ルートや燃料使用を最適化し、空荷走行距離を減らすという柔軟な対応が可能になります。また、MedTrans の保有車両の電動化にも着手し、顧客にとっての信頼性を保ちながらも、輸送関連の排出量を抑える重要な対策を講じています。

EPA SmartWay® プログラムの誇りあるパートナーとして、当社は自社の車両の排出量パフォーマンスをベンチマークし、追跡しています。こうしたツールとプロセスによって、輸送に紐づく排出量を削減しながらも、廃棄物を削減し、過剰在庫を避け、配送スピードの向上ができています。

「顧客に製品、サービス、そしてソリューションを日々提供することはもちろん極めて重要ですが、それは必要最低限のことであるとも言えます。いかなるときでもこれを実行できなければ、成功はありません。Medline が真に自らを差別化し、サービスを提供する顧客と患者に並外れた価値を届けられるのは、混乱が生じた時です。自然災害であれ、サプライヤーの機能停止であれ、地政学的な混乱であれ、たとえパンデミックであっても、Medline には準備ができています。当社は、多額の投資と綿密な計画という裏打ちのもと、強靱なサプライチェーンを構築しました。この強みは、当社の世界中のチームメンバーの文化、コミットメント、そして物事をやり抜く力を原動力としています。彼らの献身のおかげで、どのような環境にあっても、当社は顧客との約束を一貫して果たしていきます」

– Medline Industries, LP 最高執行責任者 Steve Miller



HIRCレジリエンスバッジ

Medline は、サプライチェーンの端から端まで備わるレジリエンスが認められ、ダイヤモンドレベルの HIRC レジリエンスバッジを授与されました。また、医療製品サプライヤーとして、製造の分野についても同賞が授与されました。

バッジの評価において検討対象になる要素には、需要計画、インベントリ管理、物流、サプライチェーンの可視性、サプライヤー管理、リスク管理、不測の事態および事業運営における健全性などがあります。この堅固な評価には、Medline の主要業績指標、方針と手順、調査回答、およびインタビューの知見のレビューが含まれています。

Medline は、医療従事者による長期的なサプライチェーンへのニーズを支えるため、当社の「医療レジリエンスイニシアチブ」を通して、投資を行いました。これには、新しい流通センター、製造能力、および情報技術のアップグレードが含まれます。

HIRC
RESILIENCY
PARTNER
DIAMOND-2024

サプライチェーンのレジリエンス (続き)



変化を加速する—Medlineのトートカート・イニシアチブ

Medline のトートカート・イニシアチブは、物流を最適化しつつ、サステナビリティの面でも測定可能なメリットをもたらすプログラムです。このイニシアチブでは、パレットとカートの積載効率を最大限に高めることで、再利用可能なトートとカートの日々の取り扱い数を減らしています。さらに、Medline の倉庫内の業務を合理化するだけでなく、顧客側の定期自動補充 (PAR) 担当者の手作業も最小限に抑えています。結果として、すべてのステークホルダーにメリットがある、よりスムーズで、安全で、効率的なサプライチェーンが実現しています。

このイニシアチブの中核をなすのは、環境への大きな影響要因である輸送関係の排出量の削減です。出荷を統合し、十分に活用されていないトートとカートをなくすことで、Medline は、道路を走るトレーラーの台数を削減しています。移動が少ないということは、ディーゼル燃料の消費量と GHG (温室効果ガス) 排出量を低減できるということです。本プログラムでは、貨物量の少ない出荷日をターゲットにして、その日に必要としない配送ルートのカットしました。目的は、サービスの信頼性を保ちながらも、Medline と顧客のカーボンフットプリントの削減を支えることです。

業務改善で各段階の効率を最大化することによって、排出量の削減をさらに後押しすることができます。Medline では、注文の分割を避けるために SKU の配置を工夫したり、カートを容量いっぱいまで使うために分類コードをシンプルにしたりするなど、よりスマートなピッキング戦略を採用しています。顧客は、注文のタイミングや数量を調整することで、小口で非効率な出荷の頻度を減らすことに貢献しています。こうした変更により、ひとつひとつのトートとカートを最大限に使えるようになるため、廃棄物を削減し、各配

送の環境コストを最小限に抑えることができます。

最終的に、トートカート・イニシアチブは、Medline、顧客、そして環境のいずれにとっても「有益な取り組み」となります。これは、誤りを減らし、従業員の安全を改善し、顧客の満足度を高めながら、有意義な排出量管理を通してサステナビリティを推進させることを目指しています。このプログラムが進化するにつれ、綿密な物流計画がいかにして業務の質の向上と環境への責任の両方を推進できるかを、引き続き実証していくことになります。

エネルギー管理

太陽光エネルギーポートフォリオ

Medline は、グローバル事業全体で、太陽光エネルギーの利用の拡大を目指しています。当社の再生可能エネルギーのポートフォリオには、現在、全世界で 66,000 枚超のソーラーパネルが含まれています。これには、米国、欧州・中東・アフリカ (EMEA)、オーストラリア・ニュージーランド (ANZ)、および日本の設備が含まれます。これらの設備で、年間 1,610 万キロワット時 (kWh) を超える再生可能エネルギーを発電しています。このような太陽光発電のインフラの拡大は、当社の事業の持続可能性を強化するだけでなく、エネルギー問題に直面した際のレジリエンスも高めます。

当社の 2024 年のハイライトは以下のとおりです。

- 2024 年、カリフォルニア州リアルトでのソーラーパネル設置の第 2 段階を継続。この現場に約 2,800 枚のソーラーパネルを追加。
- EMEA および日本の設備のそれぞれで、100 万キロワット時 (kWh) を超える再生可能エネルギーを発電

イリノイ州グレイスレイクおよびメリーランド州ペリービル現場において、今後数年のうちに太陽光プロジェクトを立ち上げます。

エネルギーの管理と使用

当社は、引き続き事業全体で再生可能エネルギーの利用を拡大し、エネルギー効率向上の推進に努めます。当社の北米にある配送センターのうち 25 カ所以上で、LEED 認証取得済み、または申請中です。

LEED (エネルギーと環境デザインのリーダーシップ) は、米国グリーンビルディング協会が開発し、世界的に認められている認証です。サステナブルな建築設計の基準を設定し、エネルギー効率・水の使用効率、屋内の空気の質、持続可能な材料の使用などの分野で性能を評価します。

LEED 基準に沿って建築することにより、エネルギーと水の使用量を削減し、運営コストを下げ、従業員とコミュニティのためにより健康的な環境を作ります。

2024 年、Medline Canada は、アルバータ州ロッキービューに、LEED 認証要件を満たす設計である新たな配送センターを取得しました。認証はまだ申請中ですが、このことは、責任ある成長と環境への責務に向けて当社が前進していることを示します。



53,896枚

米国内ソーラーパネル
設置数

1,610万kWh超

2024年に世界の太陽光設備で
発電された再生可能エネルギー

環境経営

当社のアプローチ

現在、当社事業の環境フットプリントを削減する幅広い取り組みの初期段階にあり、その中でも特に大気排出、水使用、および廃棄物に重点を置いています。この取り組みはまだ進化の途上ですが、どこが改善可能かを特定し、新しいアプローチを試み、時間をかけて進歩を拡大するのに必要な仕組み作りを始めるための、意義ある第一歩を当社は踏み出しています。

大気排出

環境と人間の健康の両方を守るために、大気汚染の管理が極めて重要であることを、当社は認識しています。MedTrans の保有車両の運用のように、当社がすでに相当な資産を運用している分野では、排出量削減のための革新的な技術を引き続き探求しています。

水および廃水マネジメント

清潔な空気と並んで、水は、健康を保つために欠かすことのできない要素です。当社は、事業全体にわたって、水消費量と廃水発生量の削減機会を探る予定です。

廃棄物マネジメント

当社は、環境への責務において廃棄物マネジメントが極めて重要であることを認識しており、業務改善を検討する際には、それを優先事項として位置付けています。病院から毎日発生する 14,000 トンの排出物のうち、最大 25% がプラスチックで¹³、主に単回使用の製品です。当社の再処理ソリューションは、通常では最後には埋め立て処理される廃棄物に対処するものです。当社は、責任ある材料管理を優先する取り組みにおいて、当社の事業から生じる廃棄物を最小限に抑える取り組みを実行し、従来の廃棄方法を見直すことで、循環型経済の原則により適合するプロジェクトを推進しています。

顧客の廃棄物削減への意欲を考慮し、当社はこれまでも機器再処理のサービスを提供し続けてきました。機器再処理により、廃棄物の流れから高品質な手術機器を回収するという、環境にやさしいソリューションが提供されます。そのため、規制対象である医療廃棄物処理のコストを下げるができるようになりました。機器再処理は、安全な再利用目的で医療機器を回収することによって、病院からの廃棄物をさらに削減することができます。

廃棄物削減を目指した当社のプログラムと取り組みについて詳しく知りたい方は、「責任ある製品」の章をご覧ください。

リシア・スプリングスにおける廃棄物ゼロ

ジョージア州リシア・スプリングスにある当社の製造拠点は、サステナビリティの取り組みにおいて、変革的な一歩を踏み出しました。当初、廃棄物の流れはすべて、ゲイロードボックスと木製パレットを使って管理されており、こうした容器で、良品からスクラップや床のゴミに至るまで、あらゆるものを収容していました。当社はより効率的なシステムの必要性を認識し、リサイクルを促進するために、廃棄物の流れの追跡と分別に重点を置くことにしました。

リシア・スプリングスの Medline チームは、廃棄物問題に取り組むことを決め、アンダーライターズラボラトリーズ (UL) ソリューションズの埋め立て廃棄物ゼロ認証の取得を目指しました。2025 年春には UL 監査を完了し、当社廃棄物の 96% 超を埋め立て以外の処理方法に変更したとして、ゴールド認証を受けました。

2025 年のこれからの期間は、既存プロセスの改善に注力します。今後数年のうちに、廃棄製品からフラッフパルプと高吸水性ポリマー (SAP) を回収する、紙おむつ廃棄物リサイクルシステムの承認申請することを計画しています。これにより、UL のプラチナレベルの認証を目指します。



13：プラスチック汚染連合（2025 年）医療における過剰なプラスチック：増大する危機 (<https://www.plasticpollutioncoalition.org/blog/2025/2/20/excessive-plastic-in-healthcare-the-growing-crisis>)

責任ある製品

当社は、厳しい安全基準および規制基準を満たす高品質な製品を提供することに、全力を尽くしています。当社の製品表示とマーケティング活動は、適用される規制と要件に沿ったものであり、正確性と透明性を最優先にしています。環境影響を低減する幅広い試みの一環として、当社は可能な限り、製品の循環性を向上させ、廃棄物を最小限にまで減らし、責任ある調達とパッケージングを推進することに取り組んでいます。

この章でお伝えすること

- 28 製品の安全性、製品表示とマーケティング
- 29 製品のイノベーション
- 30 責任あるパッケージング
- 31 責任あるプログラム



責任ある製品



当社は、顧客の臨床ニーズに対応し、医療の成果を向上させるため、イノベティブなソリューションの開発を目指しています。このようにイノベーションに注力することは、当社の事業のあらゆる分野に影響を及ぼします。これには、高品質で安全、持続可能な医療製品とソリューションを提供するという当社のコミットメントが含まれています。

優先テーマ

製品の安全性: 製品の健康上および安全上のリスクを最小限に抑えます。

製品表示とマーケティング: 製品およびサービスのマーケティングの文言、広告、表示において、透明、正確、包括的であることを目指します。

持続可能な製品・プログラム・パッケージング: 当社の持続可能な製品、プログラム、およびパッケージングに関する取り組みによって、製品やパッケージングが環境に及ぼす影響を軽減します。

重要業績評価指標 (KPI)

- Medline の SmartBoX[™] 技術により、不要な手袋の廃棄を 38% 削減
- 第三者認証の LCA を 4 件達成
- 6 つの新たな ReNewal 製品ファミリーを導入
- Medline ReNewal プログラムの自社施設において、220 万点を超える医療機器を再処理

製品の安全性、製品表示とマーケティング

Medline において、品質に対するコミットメントは、当社のすべての活動の基盤となっています。当社のコーポレート品質部門は、4つの重要な分野をひとつにまとめています。品質保証、品質管理、規制対応、および研究開発 (R&D) です。これらの分野では、安全、パフォーマンス、およびコンプライアンスの基準に沿うことが推し進められます。

品質保証: Medline 製品が、厳格な製品品質管理を含む、すべての関係する要件および基準を確実に満たすか、それを上回るように努めます。

品質管理: 設計およびバリデーションプロセスによって、顧客のニーズを満たす製品が確実に生み出されていることを確認するため、出荷前の最終チェックを行います。

規制対応: FDA、ISO およびその他の世界の規制機関が設定した複雑な要件に準拠するよう整合します。

研究開発: 設計エンジニアリング、検証、および妥当性確認テストを使うことで、質の高い製品を設計します。

当社のチームは、資格を有する経験豊富な専門家で構成されています。彼らは、協力して、品質基準を維持し、継続的に改善します。この専門家たちは、品質プロセスを実行し、維持する技術者、検査官、コーディネーター、および管理スタッフによって支えられています。

当社の主要な品質認証には、以下の国際的に認められたプログラムまたは基準が含まれます。

- 米国食品医薬品局 (FDA)、カナダ保健省、オーストラリア TGA、ブラジル国家衛生監督庁 (ANVISA)、日本の医薬品医療機器総合機構 (PMDA) により認められている一連の厳しい品質システム要件である医療機器単一調査プログラム (MDSAP)。この認証を取得するためには、医療機器メーカーは独立認証機関である監査法人によって実施される厳しい監査を毎年受けなければなりません。
- ISO 13485。これは、特に医療機器メーカー向けの品質管理システム (QMS) の要件を概説するものです。
- 品質システムが欧州 MDR 品質システム (EU MDR) 規則 (EU 2017/745, 付録 XI パート A) を満たしていることを実証する EU 品質保証証明書

また、業界の主要なワーキンググループにも参加しています。これらは、業界全体の製品品質と規制への遵守を向上させることを目的としたものです。

製品表示とマーケティング

当社の製品の情報をどのように伝達するかにおいて、透明性とコンプライアンスを維持することは、品質と規制を守るプロセスの重要な要素です。Medline の製品とサービスに関する表示、広告、およびプロモーションを管理する当社の手順とガイドラインは、適用されるすべての法律、基準、および業界のベストプラクティスに従って策定されたものです。

さらに、当社の製品に環境に配慮した特性を新たに加え、顧客に環境フットプリントを低減する選択肢をより多く提供できるように努めます。

製造販売後調査プログラム

当社の製造販売後調査プログラムは、当社の製品が今も安全かつ有効で、意図したとおりに機能していることを確認するためのものです。製品に関する懸念は、該当する規制当局に報告され、厳しい手順に従って対処されます。リコールが必要な場合、当社は定められた手順に従い適切なステークホルダーに通知し、リスク軽減措置を取り、規制当局との透明性の確保を行います。



製品のイノベーション

Medline では、患者や医療従事者のニーズを満たすだけでなく、サステナビリティ、包括性、およびパフォーマンスに関する幅広い要望を支えるために、製品のイノベーションに取り組んでいます。当社は、有効でアクセスしやすく、環境に対して責任あるソリューションを設計することを目指しています。パッケージングの改良を通してであろうと、ライフサイクルアセスメントを通してであろうと、私たちが取り組んでいるのは、当社が提供する製品の廃棄物の削減、透明性の向上、および長期的な価値の強化です。



SmartBoX™手袋

Medline の SmartBoX は、手袋のパッケージングの持続可能なイノベーションです。手袋との不要な接触を最小限に抑え、取り出す際の効率を向上させる独自の設計で、手袋の廃棄を 38% 削減させました。廃棄が減ることにより、医療施設では、衛生と感染対策の高い基準を維持しながら、環境影響を低減できるようになります。



OptiView® 透明皮膚用保護パッド

当社は昨年、患者の安全と快適性の向上を目的とする一方で、廃棄物を最小限に抑えることができる複数の新製品を発表しました。その革新的な製品のひとつが、OptiView 透明皮膚用保護パッドです。この種では初の透明な保護パッドで、ゲルでできた中心部が圧力を分散させ、皮膚から熱を逃がします。この設計により、装着時間を延ばし、保護パッドの頻繁な交換の必要性を最小限に抑え、それによって医療用保護パッドの廃棄量が低減されます。効率的に使えば、剥がさずに皮膚を継続的に観察することができるため、患者ケアの質が向上します。この製品は、シカゴイノベーションアワードでトップ 20 のイノベーションのひとつに選ばれたという栄誉を得ました。



FitRight CONNECT™湿気感知システム

当社の FitRight CONNECT 湿気感知システムは、大人用おむつに入れたセンサープローブを用いて、排尿パターンをリアルタイムで追跡します。例として、おむつが濡れたのはいつか、どれだけの時間濡れたままだったか、清潔なおむつへの交換時期がいつだったかなどです。このデータによって、介護提供者はより迅速な対応ができるようになり、失禁関連の皮膚炎のリスクを減らし、患者の快適性と安全性を向上させます。

このシステムによって、湿気に長時間接触することを防ぎ、不必要な交換を減らすことで、製品を頻繁に廃棄する必要性を減らすことにも役立ちます。

ライフサイクルアセスメント

「ライフサイクルアセスメントを実施することによって、当社は顧客に信頼できるデータを提供できるようになり、顧客は当社のポートフォリオから環境に対して責任を負える製品を選ぶようになります。これには、サステナビリティにおける透明性と継続的な改善に対する当社のコミットメントが反映されています」

- Medline Europe, Middle East and Africa サステナビリティ担当ディレクター Oliver Watts

2024 年、Medline Europe は、ライフサイクルアセスメント (LCA) プログラムの範囲を拡大し、一部の選ばれた検査用手袋とともに、全手術用手袋のポートフォリオもアセスメント対象としました。2023 年にドレープとガウンの LCA は成功裏に完了しており、それを基盤とした今回の拡大は、地域ごとのサステナビリティ戦略を進めるにあたって、さらに大きな一歩を進めたこととなります。

こうしたアセスメントにより、顧客は当社の製品ポートフォリオから、使用目的に合わせて環境影響の低い製品を選択することが可能となり、当社が共有するサステナビリティ目標との整合性を図ることができます。これらのアセスメントは、国際的に認められた ISO 規格に準拠しており、第三者による独立した検証を受けることで、信頼性と透明性を確保しています。

このようなデータに基づくアプローチにより、Medline Europe は以下のことが可能になります。

- 当社の製品の中で環境的に影響を及ぼす「ホットスポット」を特定し、ターゲットを絞った製品開発を行うことによる対応を検討すること
- サステナビリティを念頭に置いて、サプライチェーンの選択肢を評価すること
- 顧客のスコープ 3 排出量の監視・報告を行えるよう環境データを提供することで顧客をサポートすること
- 環境影響を低減するために、当社の廃棄段階における選択肢をさらに探ること

アセスメントから得られた知見は、他の部門全体で活用され、製品のイノベーションに反映されます。Medline Europe は引き続き、当社製品の環境影響の理解を深めることに全力を尽くしていきます。さらに、医療業界と顧客がそれぞれの環境目標を達成することを支援できるよう、LCA とサステナビリティへの取り組みに、投資を続けていきます。

責任あるパッケージング



パッケージングは、製品の保護と環境パフォーマンスの両方に、極めて重要な役割を果たします。当社は、事業全体にわたって、資材の使用を減らし、不要な廃棄物を排除し、製品のパッケージングや輸送の方法を改善する方法を探っています。

2024 年、Medline は、当社の C02 施設において、Ranpak 社と共同でパイロットプロジェクトを行いました。Ranpak 社は、持続可能なパッケージングソリューションの世界的リーダーであり、保護包装におけるプラスチックの代替品として、100% 紙素材の設計を専門としています。Ranpak 社の技術は、企業が廃棄物とコストを削減し、商品を箱から取り出す体験を向上することに貢献します。

Medline は、業務の効率と環境への責任に対するより広いコミットメントの一環として、Ranpak 社の持続可能なパッケージング技術を採用しました。Ranpak 社の紙素材の自動システムを統合した施設では、プラスチック製パッケージング素材への依存度が大幅に下がりました。この移行は、Medline のサステナビリティへの取り組みをサポートだけでなく、梱包の速度と製品の保護も向上させています。

2024 年、当社の標準的な混載供給箱で使用していたプラスチックのエアクッションからこの技術に移行したことにより、顧客への出荷からプラスチックを排除することができました。さらに、出荷時の梱包効率も改善しました。さらに、当社の倉庫管理システム (WMS) により、各注文品の実寸により近いサイズの箱を合わせることができるようになりました。その後、Ranpak 社のシステムが、わずかな許容範囲内で梱包を最適化します。これにより、箱の不要な空間を減らすことができ、より効率的に出荷できるようになりました。2025 年、Medline は 2 つ目となるパイロットプロジェクトを、Ranpak 社と共同で、ニューヨーク州モンゴメリーの施設において開始する予定です。

地域によって取り組みは異なります。その一方で、現地の成功事例は何が可能であるかを示してくれるため、当社はそこから学んでいます。例えば、紙とプラスチックの削減、パッケージングサイズの最適化、サステナビリティと業務の効率を両立させるスマートなパッケージングシステムの設計などです。

さらに、以下のような Medline のパッケージングに関する追加の取り組みもあります。

- 日本では、顧客と積極的に協働し、外装パッケージの設計を改善しました。その結果として、現在再梱包が必要な製品はわずか 1% となり、小型の製品は、大きな箱ではなく、クッション付きの封筒で梱包されるようになりました。後者の方法によって、小型製品の緩衝材として必要な紙の量が、2024 年 2 月から 10 月の間でおおよそ 91kg も減少しました。小さな箱を使うことで、輸送に必要なスペースも減少しています。

Medline は、進化を続けるなかで、持続可能なパッケージングの実践を組織全体にわたって進めようと努めています。当社は引き続き、イノベティブな技術に投資し、地域のパートナー企業と協働や、改善の新たな機会を見出すためのチームの主体的な取り組みを支援しています。また、成功した取り組みの範囲を広げ、学習を継続する企業文化を取り入れることにより、当社のサプライチェーンの効率とレジリエンスを強化しながらも、環境フットプリントをさらに低減することを目指します。

責任あるプログラム

Medline は、医療従事者の業務上の課題をより深く理解し、サステナビリティ目標の達成を支援するために、現場の声に耳を傾けます。当社のサステナビリティプログラムは、顧客のニーズに沿うように開発されており、サプライチェーン全体で効率化を進め、廃棄物とコストを削減します。同時に、環境影響を最小限に抑え、地球をより健全に保つ方法も考えています。当社は、当社の製品とプログラムに可能な限りサステナビリティを組み入れることで、パートナー企業が臨床と環境の両面で進歩を遂げられるよう支援することを目指しています。

PrefConnect™

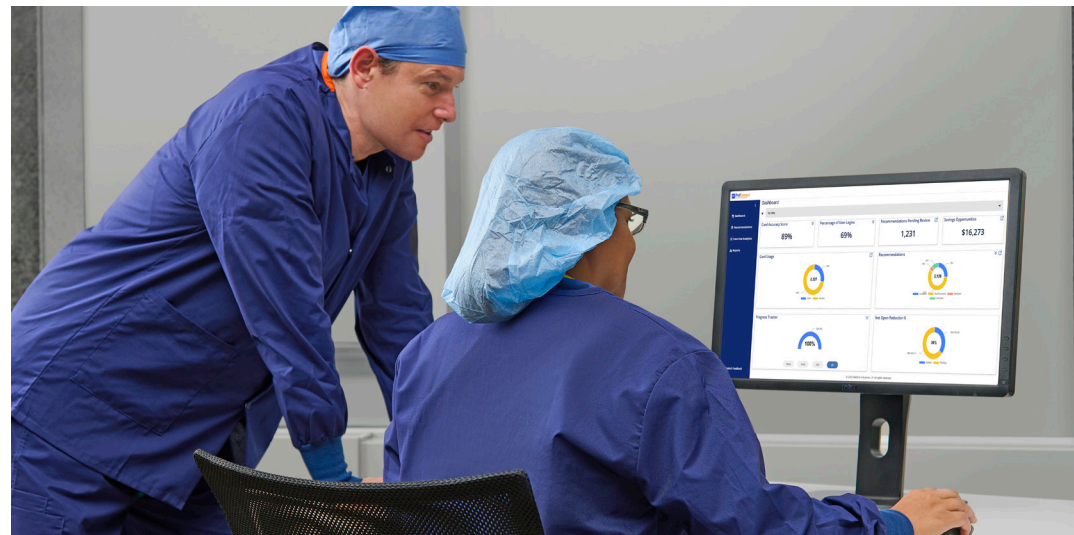
手術関連用品は、医療材料費のおよそ 3 分の 1 を占めています。にもかかわらず、処置のために取り出された備品の最大 40% は使われないままとなり¹⁴、不要な廃棄物と非効率を生み出しています。

この状況に対処するため、Medline は PrefConnect を買収しました。PrefConnect は、廃棄物削減と手術用在庫の最適化を目的とした、クラウドベースの手術用プレファレンスカード管理・供給分析プラットフォームです。PrefConnect は、独自のアルゴリズムを使い、処置中にリアルタイムの備品使用状況を追跡し、どの備品が一貫して使用されているか、あまり使われていないか、未使用であるかについて、実用的なインサイトを提供します。過剰な備品を除去したり、頻繁に使われる備品の数を増やしたり、あるいは備品のステータスを「オープン」から「保留」に

変えるといった調整を行うことが推奨され、手術チームが必要な時に必要な備品を手に行き届くように支援します。

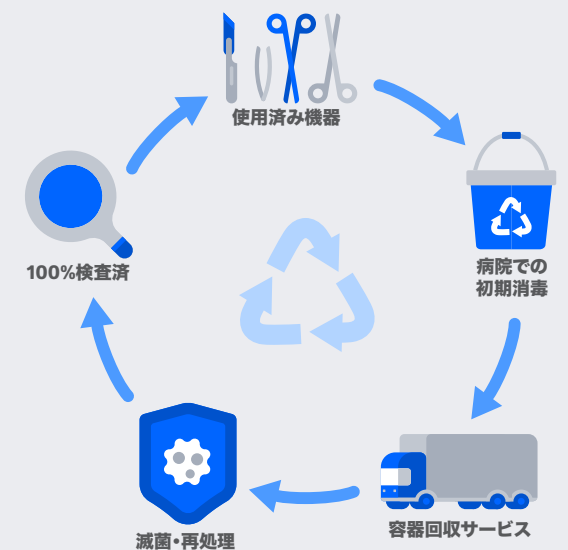
PrefConnect は、過剰な在庫を減らし、使用されない備品を最小限に抑えることによって、病院が廃棄物とコストを削減し、業務の効率を高める手助けをします。これは、毎年数千件の手術を行う施設にとって、特に有益に働きます。

今後、2025 年には、Medline は当社のプラットフォームを強化し、より深い分析、より広い可視性、そしてよりスマートな推奨を提供できるようにします。これにより手術チームは、より情報に基づき、より持続可能な意思決定ができるようになり、そのことが患者の治療と環境への責任の両方の支援になります。



単回使用機器のリサイクリング

当社の機器リサイクルプログラムでは、鉗子やハサミなどの単回使用の手術用機器の廃棄について、より持続可能な代替案を顧客に提供します。Medline のセンチュリオンプログラムでは、規制対象である医療廃棄物とそれに関連する処分コストの削減を目指します。このプログラムによって、これらの機器は回収・再処理され、廃棄物の埋め立て処理が回避されました。2024 年度には 42 万を超える機器が再処理されました。この取り組みは、環境への責任を支えるだけでなく、医療施設の運営コストを削減し、サステナビリティ目標の達成も支援しています。



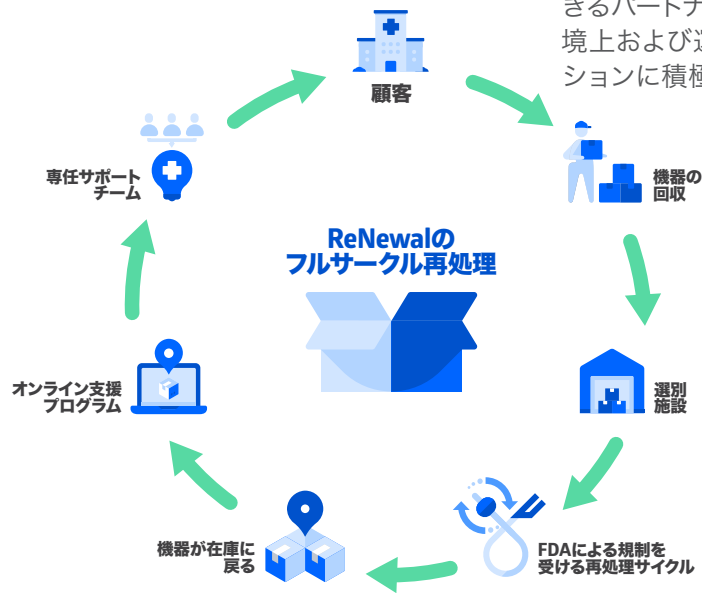
14：形成外科および再建外科グローバルオープン（2024 年）。外科廃棄物の負担を軽減するための介入：系統的レビュー。https://journals.lww.com/prsgo/fulltext/2024/08000/interventions_to_reduce_surgical_waste_burden__a.61.aspx および国立医学図書館（2025 年）。環境維持に対するシステムレベルでの外科医療への動機付与。https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC11749378/

責任あるプログラム (続き)

ReNewal

Medline は、医療従事者によるサステナビリティ目標の推進を支援することに対して、深い関心を抱いており、ReNewal プログラムはその礎となっています。ReNewal では、高価値の単回使用医療機器を再処理することで、重要な機器の使用期間を延ばし、病院および医療システムが廃棄物を削減し、一方で最高基準の安全と品質を維持できるようにすることを目指しています。

当社は、医療機関に対し、環境への影響を削減するよう圧力が高まっていることを認識しています。ReNewal は、その取り組みを支援する強力なツールになりえます。2024 年、当該チームは、このプログラムの専用施設において、220 万点を超える医療機器を再処理しました。これは、廃棄物とカーボンフットプリントを減らすために、循環型ソリューションを取り入れる医療従事者が増えていることを示唆しています。



ReNewal の医療機器再処理作業は、Medline にとっては単なるサービス提供ではなく、戦略的優先事項です。その範囲と影響の拡大に、当社は多くの力を注ぎ込んでいます。2024 年、当社は 6 つの新たな製品ファミリーを導入しました。いずれも FDA510 (k) 認証を取得しており、臨床の幅広い領域にわたって廃棄物を削減するさらに多くの機会を顧客に提供できるようになりました。当社は、イノベーションおよびパートナー企業の進化するサステナビリティへのニーズを満たすことにコミットしており、この拡大はそれを反映したものです。具体的には、記録・診断用カテーテルや、切断機器、凝固機器など、電気生理学的検査室で使用されるような、節約する価値の高いアイテムが含まれます。

顧客は ReNewal をサプライチェーンに組み込むことで、再処理による廃棄物管理が可能になります。さらに重要なのは、顧客がサステナビリティを目指す過程において、信頼できるパートナーを得られるということです。環境上および運用上の価値を提供するソリューションに積極的に取り組むパートナーです。



人々とコミュニティ

Medline は、従業員および当社がサービスを提供するコミュニティに、意義ある影響を及ぼすことを目指しています。当社は、職場の健康と安全について最高水準を維持し、従業員の成長とつながりを育み、組織全体で帰属意識を推進します。また、企業としての寄付やボランティア活動を通して、特定の地域においても、グローバル規模において、当社がサービスを提供するコミュニティ内の健康の公平性の前進に取り組んでいます。

この章でお伝えすること

- 35 従業員の健康と安全
- 36 従業員のウェルビーイングとメンタルヘルス
- 37 人材の確保と維持
- 38 従業員エンゲージメント
- 39 ビロッキング
- 41 コミュニティエンゲージメント
- 43 医療アクセスと適正な医療費
- 44 サプライヤーインクルージョン



当社の従業員



Medline では、より健康的なコミュニティづくりは、従業員に力を与えることから始まると考えています。当社は、すべての従業員が安全で尊重され、帰属意識を感じることができるような職場づくりに尽力しています。厳しい安全衛生基準、能力開発の有意義な機会、そして帰属意識が育つ企業文化を通して、当社は、チームがその潜在能力を最大限に発揮できるようにサポートを提供します。

このコミットメントは、企業の枠を超えます。当社は、私たちが在住、または在勤するコミュニティに投資し、特に弱い立場の人々の医療アクセスを向上させ、拡大させることに力を注いでいます。当社は、健康の社会的決定要因に取り組み、地域のパートナーシップを支援し、従業員を奉仕活動に携わらせることによって、より強く、強靱なコミュニティを作る手助けをします。

当社では、包括性、安全性、そして関与することが単なる優先事項ではなく、それらが、どのように働くか、どのように前向きな変化を導くかについての基盤となるような環境を育てることを誇りに思っています。

優先テーマ

従業員の健康と安全: 従業員の安全と健康、および彼らの職場環境を最優先します。

従業員エンゲージメント: 従業員は Medline の成功の鍵であり、働きやすい職場を作り上げることは当社の責任です。

ビロギング: 当社の目標は、誰もが自らの貢献を認められ、仕事と能力開発を支援され、チームメイトとつながり、Medline で働くことを誇りと感じられる企業文化を作ることです。

コミュニティエンゲージメント: 当社の慈善寄付とボランティア活動は、従業員が在住、または在勤するコミュニティに根差したものです。

医療アクセスと適正な医療費: 医療へのアクセスを拡大し、医療を利用しやすくする取り組みを支援することによって、コミュニティにおける積極的な世話役の役割を果たすことを目指しています。

サプライヤーインクルージョン: 当社のコミュニティの多様性を反映するサプライヤーネットワークを構築しています。

重要業績評価指標 (KPI)

- 差別・ハラスメント防止研修の実施
- 全従業員の 83% が、2024 年従業員エンゲージメント調査に参加
- 米国内で約 7,200 時間のボランティア活動で 70 を超えるチャリティを支援
- Human Rights Campaign の企業平等指数で 100 点を獲得

従業員の健康と安全

安全は、Medline の中核をなす価値です。当社は、安全規範のガイダンスに基づいて、従業員と顧客、および当社がサービスを提供する医療従事者とコミュニティの安全を守ることに取り組んでいます。当社には、専門家による環境衛生安全チームがあり、安全方針および手順を策定し、実施しています。Medline はすべての施設において、安全および従業員からの情報提供を重要視しています。当社の米国内の配送ネットワーク全体に安全委員会を設置したことによって、このことは実証されています。当社が事業を行うすべての場所で、その地域の要件を満たすように努めています。

この取り組みにより、当社にとって以下が可能になります。

- 当社の所有地の内外で、安全で健康な環境を構築すること
- 会社の基準を満たしつつ、コンプライアンス要件の一步先を進むこと
- 社内施設の監査および安全プログラムのレビューを指導すること
- 当社のチームに、安全かつ成功裏に仕事を行うための適切な知識とツールを提供すること

- 安全を当社の企業文化の価値として確立させ、すべてのインシデントは予防できるということを徹底すること

当社は、安全が最も機能するのは全員が関与するときであると考えています。従業員は、潜在的な環境および健康の危険を特定することにおいて、極めて重要な役割を果たします。一方で経営陣は、なぜ安全が企業価値の基盤をなすのかを、繰り返し伝えます。

2024 年、Medline Operations は、環境・健康・安全 (EHS) チームと連携して、危険特定・排除プログラムを開発し、導入しました。このプログラムは、2025 年の初めに、米国のすべての配送センターに配備されました。このプログラムを通して、従業員は職場で危険を特定する方法を学びました。また、素早く対策を取り、解決するために、現場のリーダーに危険を報告することが推奨されました。

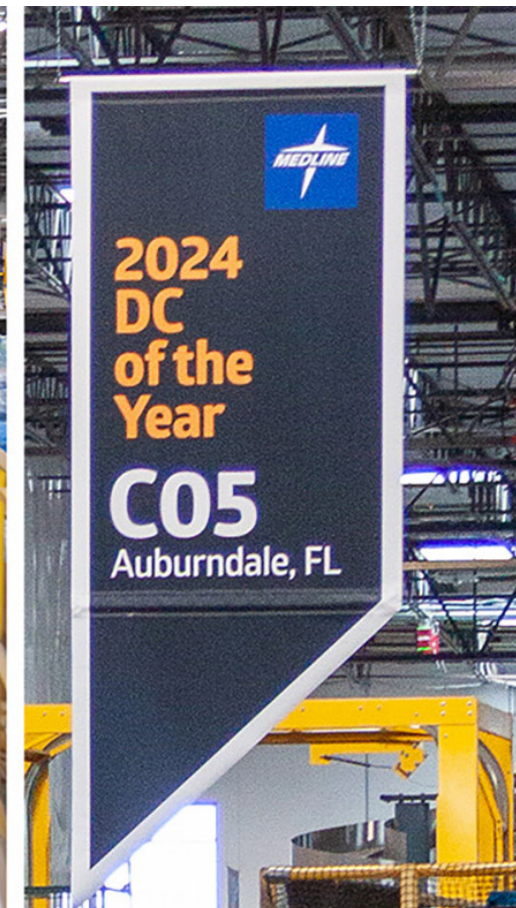
当社はすべての拠点において、安全は全員の責任であるという企業文化を育てています。チームに対しては、声を上げ、対策を講じ、実践を継続的に改善するよう力付けています。人々とコミュニティを守ることは、単なる方針ではなく、共有されたコミットメントであるからです。

当社の米国の配送拠点と、米国とメキシコの製造拠点は、年に一度の従業員のための安全意識向上 (S.A.F.E.) プログラムとゴールデンコーンプログラムのそれぞれに、継続して参加しています。これらのプログラムを通して、各施設は、従業員の安全に焦点を当てた特定の基準を満たし、活動を実施しています。最高点を獲得した施設が、プログラムの勝者として表彰されます。

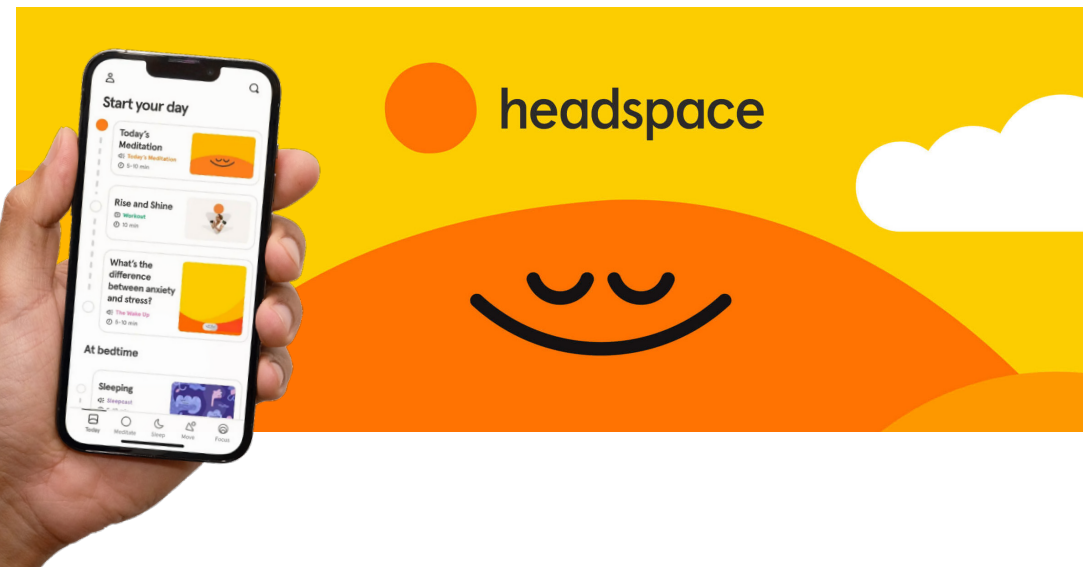
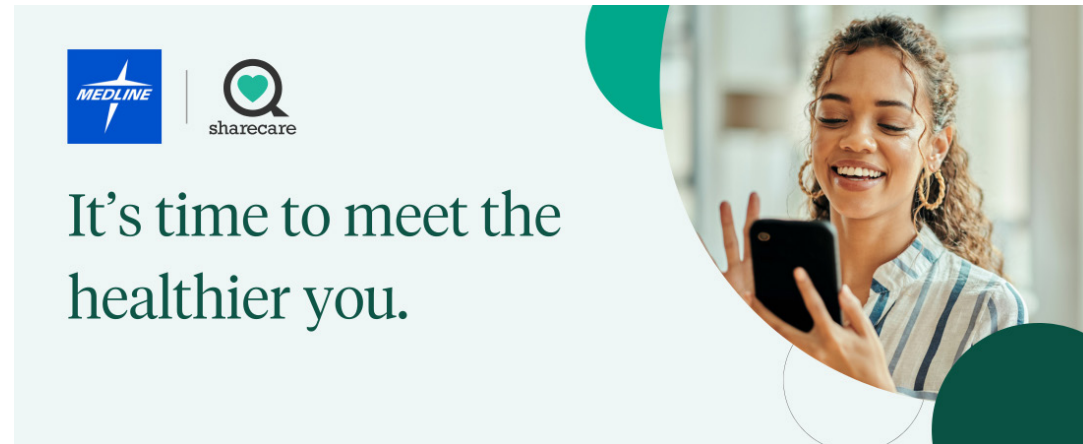


「Medline において、安全は中核をなす価値であり、当社の事業運営の一部を構成します。安全を重んじる当社の企業文化は、全従業員のエンゲージメントの上に築かれたものです。—私たちは明確な期待値を設定し、チームとして遂行します」

—Medline Industries, LP 品質運用担当バイスプレジデント Jasper Titus



従業員のウェルビーイングとメンタルヘルス



当社は、従業員が最大の影響力を生むのは、彼らが個人的、精神的、感情的に支えられていると感じるときであることを理解しています。これが、当社が従業員のウェルビーイングに対して思慮深く、心身を含めた全体的な取り組みを行う理由です。メンタルヘルスのリソースから、身体的ウェルネスのプログラムまで、当社のグローバルな従業員の多様なニーズを反映した福利厚生制度を設計しています。

当社はグローバルに事業を行っていますが、ウェルビーイングについては柔軟で全体的なアプローチを取っています。提供される取り組みは国や地域に合わせて変わりますが、目標は同じです。従業員が適切な時に適切な支援にアクセスできるように推進することです。当社は、メンタルヘルスサービスなどのリソースへの投資を継続し、従業員が職場の内外で活躍できるよう支援します。

この取り組みの重要な部分を占めているのが、当社の従業員支援プログラム(EAP)です。このEAPと全地域の従業員サポートプログラムを通じて、24時間365日支援を提供しています。これらのプログラムでは、従業員が必要なときはいつでも無料で秘密厳守のカウンセリングを受けることができます。また、専門医(従業員本人および家族対象)やバーチャルウェルネスセッションへのアクセスも提供されます。米国と欧州では、従業員本人と家族はいつでも、ComPsych ガイダンスリソースにアクセスできます。この無料サービスでは、感情のウェルビーイングから財務計画に至るまで、あらゆることに対してガイダンスが提供されます。米国の従業員は、Headspace にもアクセスができます。ここでは、24時間対応のコーチング、セルフケアのツール、およびバーチャルセラピーが提供されます。

2024年には、米国従業員向けに Sharecare が導入されました。これは、包括的なプラットフォームで、自分の日常習慣を理解し、より長く健康的な生活を可能にする選択ができるように、ユーザーを支援するものです。このプラットフォームでは、個人固有のニーズに合わせて設計された、本人専用のツールとリソースが提供されます。

Medline が他の国々で追加実施した、メンタルヘルスおよびウェルビーイングの取り組みは以下のとおりです。

- 今年、当社のメキシコの事業拠点では、メンタルヘルス・アンバサダー・グループを発足させ、メンタルヘルス、マインドフルネス、瞑想に関する複数のウェビナーとワークショップを実施しました。これらのサービスはパナマの事業拠点にも適用されます。
- カナダでは、すべての事業拠点でメンタルヘルスとウェルネスのクリニックを開催しました。新しくリーダーになった従業員は、「リーダーシップ・フォー・パフォーマンス認定」の研修を修了しています。この研修には、メンタルウェルビーイングを専門とするモジュールが含まれています。これは、リーダー達に自己責任を果たし、健全な境界を設定し、困難な会話を操り、有意義な支援を提供できる能力を付けるためのものです。
- 2024 年も、年に一度開催される Medline Canada のウェルネスデイを含む、主要な取り組みを継続しました。当社のメンタルヘルス開業医による福利厚生、従業員窮乏支援プログラム、長期障害支援プログラムは、当社のチームメンバーへの経済的支援の重要な起点であり続けています。
- Medline Europe は、2024 年に、フランスのヴォアザンにある事務所において、スポーツを基盤とする新たなウェルビーイングプログラムを導入しました。このプログラムでは、身体的にも精神的にも健康であり続ける手段として、ダンス、ヨガやボクシングを試す機会を従業員に提供しています。

人材の確保と維持

Medline では、従業員の能力を高めることが、イノベーションを推進し、当社のミッションを果たすために不可欠であると考えています。当社の企業文化は、従業員に対して、行動し、問題を解決し、有意義な変化をリードする自由を与えます。このアプローチは、多才で優秀な人材を継続して惹きつけ、選ばれる雇用主としての評判を固めるものです。

当社は、従業員の成長を支援することに多くの力を注いでいます。世界の事業全体で、明確なキャリアパス、グローバルな異動の機会、および個人に合わせた能力開発計画への投資を行っています。こうした取り組みは、自分の価値が認められ、サポートされ、成長する力を与えられていると従業員が感じられるような職場を作るための広範なグローバル戦略の一環です。

当社チームは 2024 年に取り組みを実行し、2025 年の早期に、米国のすべての求人広告に給与の範囲を掲載して、透明性と公平性を推し進めることができました。これにより従業員は、給与体系がどうなっているか、組織内でどのように成長できるかを、より明確に知ることができるようになりました。

さらに、Medline は職場で公平性と包括性を推進する取り組みを文書化し、2025 年の Human Rights Campaign の企業平等指

数で 100 点を獲得しました。この指数は、LGBTQ+ 従業員に対する当社の包括的な方針と実践を評価したものです。また、Forbes による「米国の最も優れた大規模雇用主」および Becker's による「医療業界で働きやすい職場トップ 150」にも選ばれました。こうした評価は、単なる栄誉以上のものを反映しています。従業員に投資することが、当社の事業、コミュニティ、そして医療の未来を強くするという当社の信念が肯定されたのです。

従業員への継続的な教育と能力開発に対する当社のコミットメントは、世界の各地域の取り組みに反映されています。

- 日本では、2024 年に 204 名の従業員が、従業員の成長と能力開発を支援する研修セッションに参加しました。これには、全幹部社員を対象とする心理的安全性に関する研修が含まれています。これによって、包括的なリーダーシップと従業員のウェルビーイングへの集中がさらに強化されました。
- 欧州では、職業能力開発への継続的な投資の一環として、対面式の安全衛生 (HSE) 研修を除き、3,800 時間を超える学習を従業員が修了しました。
- カナダでは、当社の人材獲得チームが、クイーンズ大学スミス経営大学院、ヨーク大学シュリーク経営大学院、トロント大学ロットマン経営大学院を含むトップ MBA プログラムと強いつながりを築き、医療イノベーションの将来のリーダーたちとの交流を深めました。

こうした評価によって、従業員に投資することが当社の事業、コミュニティ、そして医療の未来を強くするという当社の信念が肯定されました。



従業員エンゲージメント



従業員エンゲージメントは、Medline の成功に不可欠のものです。当社は、あらゆる意見を捉え、従業員が自分の意見に耳を傾けられていると感じられるような、堅固なフィードバックシステムを構築しました。

これには、隔年の全従業員エンゲージメント調査と、キャリアの重要な節目に行われるライフサイクル調査が含まれます。こうしたツールにより、従業員の経験についてのリアルタイムのインサイトが得られ、課題を早い段階で特定し、対処することができます。

当社は単にフィードバックを集めるだけでなく、それに基づいて行動します。学んだことを活用して、従業員にとって最も重要な事柄を反映したプログラム、方針、および慣例を形作ります。これが、当社がチームに対して、彼らの視点こそが進歩を後押しし、彼らの Medline での経験が真に重要であると示す方法なのです。

2024 年、当社は二年に一度のグローバル従業員エンゲージメント調査を実施しました。参加率は 83% でした。

パルスサーベイを通して、当社は特定の職場の動向を理解し、関連する課題を探り、以前の取り組みがどの程度うまく機能していたかを評価するように努めています。当社のライフサイクル調査は、従業員のキャリアの転機において、貴重な情報を提供します。チームと定期的につながることによって、当社は従業員が Medline での経験の様々な段階をどのように経験していくかについて、有益な視点を得ます。

2024 年、当社のカナダの「オペレーションズ・リーダーシップ」チームが地元の人事リーダーたちと連携し、「オペレーションズ・タイガー・チーム」を結成しました。このチームは、従業員の健康と安全の継続的な改善など、オペレーション関係の取り組みに注力しています。直近では、従業員の健康と安全に関する積極的行動について、従業員の報償・表彰プログラム (CARESPlus プラットフォーム) の調整に取り組みました。この調整によって、従業員が健康的で安全な業務の実践を示し、推進すると、報償プラットフォームでポイントを得ることになります。このポイントは時間の経過とともに増加し、従業員が利用できる様々な報償の請求に使うことができます。

従業員感謝週間

当社では、認められることでチームがより強くなると考えています。人は、正しく評価されたと感じたときに、より関与を強め、つながり、やる気に満ちるのです。

これが、当社が従業員への感謝を世界規模の祝典とした理由です。当社が年に一度実施する「従業員感謝週間 (EAW)」は、世界中の従業員を集めて、彼らの献身と成果を称える場です。南米の各オフィスで開催されていた EAW が、2024 年に初めて、すべて同時に開催されました。この節目となった出来事には、統一された「認める」という文化をすべての地域で育てるという、当社のコミットメントが反映されています。

こうした時間は、単に成果を祝うだけの時間ではありません。Medline の企業文化を規定する一体感と目的意識の共有をさらに強固なものにします。当社は、従業員こそが成功の基盤であり、彼らの献身、イノベーション、そして協力が、当社のミッションを前進させるために不可欠であると認識しています。感謝する企業文化を育てることによって、当社は個人の貢献を称えるだけでなく、従業員が力を与えられ、価値を認められ、触発されると感じ、今日、そして未来に向けて、意義ある影響を後押しするような環境を築きます。

ビロッキング

当社の企業文化であるビロッキングは、チームを強化し、顧客にサービスを提供するために協力して働く姿勢をさらに強固なものにします。多様な視点や経験を持つ従業員がいることによって、当社が支援する人々やコミュニティのニーズをより深く理解することができるようになります。当社は、すべての従業員が成長し、共通の成功に向けて貢献できる環境を作ることに尽力しています。

認められ、支えられ、つながる

人は帰属意識を感じる時、つまり、自分の貢献を認められ、能力開発を支えられ、そして同僚とつながっていると感じる時に、最高の力を発揮すると当社は考えています。Medline において、従業員エンゲージメントを最も高める推進力、ひいては業績の重要な推進力になるものは、従業員が帰属意識を感じることです。当社にとって、これは事業と企業文化のどちらの面でも欠かすことができません。経営陣は、包括性に根差した企業文化を育て、社員が活躍するために必要なツールとリソースへのアクセスを用意し、顧客と当社の事業の両方により強力な成果を生むあらゆる視点を奨励することによって、これを強化します。

当社全体にわたる影響の強化

当社の人事部門は、以下の3つの具体的な要素に重点を置くことによって、協力と成果を生む環境づくりに取り組んでいます。

- **成果:** 事業部と協力して、従業員エンゲージメントを向上させ、新入社員のオンボーディング体験を強化します。
- **プロセス:** 人材評価プロセスにおいて機会均等と透明性を推進し、従業員が自分の現在の立ち位置と、成長し、昇進するために必要なステップを明確に理解できるようにします。
- **連合:** 「従業員リソースグループ (ERG)」をサポートし、その一方で、誰にとってもより健康で包括的な職場を実現することに、Medline の全従業員を関与させます。

こうした戦略的要請は、採用から専門的研修および人材開発、そして従業員エンゲージメントの取り組みにまで広がる、人事・人材管理の実践によって支えられています。

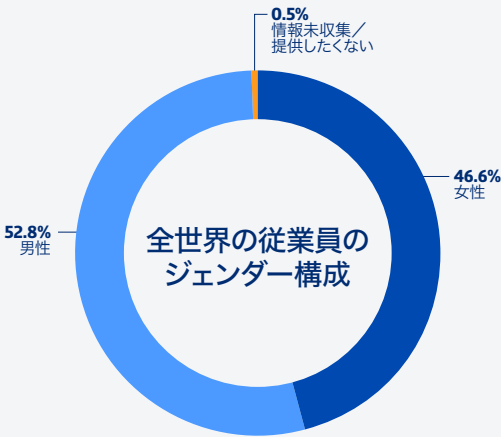


数字で見る Medline

全世界の従業員のジェンダー構成

Medline は従来、新入社員のオンボーディングの期間中に収集した情報を活用し、自己申告の性自認のデータがあればそれで補うことによって、世界のジェンダー別のデータを報告してきました。本報告書では、これらの情報を組み合わせたものを反映しています。

全世界の従業員のジェンダー構成 ¹⁵	
女性	46.6%
男性	52.8%
情報未収集／提供したくない	0.5%



15 : Medline のデータ収集プロセスには「自認」が含まれています。これは、ノンバイナリーのデータを収集する試みです。2024 年の回答数は過少であるため、現在のところ、グラフで可視化することができません。

ビロッキング (続き)

従業員リソースグループ (ERG)

Medline の「従業員リソースグループ (ERG)」は、体験を共有する空間を作り、意識向上を促し、支援環境を育てることによって、当社の企業文化と職場の強化を続けます。会員資格は、アイデンティティに関わらず、すべての人に開かれています。これらのグループは、Medline のミッションと価値観に沿って、様々な拠点にいる従業員に、自分と似た背景または異なる背景を持つ他者とつながり、耳を傾け、学ぶための独自の場を提供します。ERG は、意識向上と一体感を後押しすることで、当社の企業文化である帰属意識を下支えします。

米国の Medline には以下の 7 つの ERG があります。経営陣のサポートを得て、会社が後援しています。アジア太平洋系アメリカ人 ERG (APA)、黒人従業員ネットワーク (BEN)、障害に関する意識向上・行動同盟 (DAAA)、ラテンアメリカ系 Medline 同盟 (ALMA)、Medline 退役軍人エンゲージメントチーム (MVET)、PRISM (旧 LGBTQ+ ERG)、および女性従業員リソースグループ(WERG) です。



アジア太平洋系
アメリカ人ERG



黒人従業員
ネットワーク



障害に関する
意識向上・行動同盟



ラテンアメリカ系
Medline同盟



Medline退役軍人
エンゲージメントチーム



PRISM



女性従業員リソース
グループ

インクルーシブリーダーシップ

Medline U.S. では現在、リーダー向けの「ビロッキングとインクルージョン」の研修で 2 つのオプションを提供しています。2024 年以降、580 人以上のリーダーが、少なくともいずれか 1 つの研修を修了しています。「インクルーシブ・リーダーシップ・シリーズ」は、ディレクターレベル以上の従業員向けに設計されたもので、心理的安全性、違いの受容、帰属意識の育成に重点を置いています。今年は、初めて部下を持ち、「Medline マネジメント・エッセンシャルズ」プログラムに参加する管理職向けに、インクルーシブ管理職研修が導入されました。この 2 つは、異なるレベルのリーダーにそれぞれ合わせて作られながら、同様のテーマに焦点を置いています。この 2 つの研修プログラムの目的は、チームのためにインクルーシブな環境を作り、従業員の体験全般に良い影響を及ぼすために必要なスキルとツールをリーダーに身に付けさせることです。

家族形成支援の拡大

2024 年、Medline は、米国における福利厚生を拡大し、Progyny を通して、包括的な不妊治療と家族形成の支援提供を追加しました。これには、最新の技術と治療法を用いた総合的な医療保障、不妊治療専門家の一流のネットワークを通じた質の高い治療へのアクセス、さらに専門の患者ケアアドボケートによる精神的サポートとガイダンスが含まれます。

EMERGE メンター制度

EMERGE は、Medline の米国におけるメンター制度プログラムです。会社全体に広がり続けており、米国の従業員全員が参加可能です。このプログラムでは、2024 年に 1,800 時間を超えるメンタリングが記録されており、メンターとメンティーの両方に成果をもたらし続けています。プログラムの参加者は、EMERGE に参加する主なメリットとして、専門能力の開発、ネットワーキングの機会の拡大、そして新たな視点を養うことと答えています。これは、このプログラムが当社の企業文化である支援とインクルージョンを強化していることを示しています。さらに、Medline の ERG では、夏期インターン生たちに向けたメンター制度プログラムを開始しました。これにより、過去の EMERGE にメンティーとして参加した者が、キャリア初期のインターン生のメンターになることで、新たに獲得したスキルを実践に使う機会を得ることができます。

こうした取り組みはすべて、全従業員が帰属意識、支援、およびチャンスを感じることができ、職場づくりに対する、Medline の深く継続的なコミットメントを反映したものです。インクルーシブな福利厚生やリーダーシップ研修から、メンター制度や従業員主導型のグループ活動に至るまで、当社は、企業文化を強化し、個人に力を与え、組織全体にわたって有意義なつながりを築くプログラムへの投資を続けています。こうした取り組みは、当社のミッションや価値観に沿っているだけでなく、Medline が、すべての従業員が個人的にもキャリアにおいても成長できる場所であり続けることを支援しています。

コミュニティエンゲージメント

当社のコミュニティエンゲージメントと、支援の取り組みは、当社の従業員が在住、または在勤するコミュニティに注力して実施されます。戦略的な非営利団体とのパートナーシップや従業員のボランティア活動を通して、当社は、最も必要とされる場所で医療システムを強化することを支援しています。

必要不可欠な医療用品を寄付し、私たちの時間と専門知識を提供し、地域の組織と協力して弱い立場の人々の医療へのアクセスを改善します。極めて重要な資源を届けるにしても、支援の手を差し伸べるにしても、当社はまず耳を傾け、現場に立ち、尽力し続けます。医療へのアクセスを改善することは、善意だけでは十分ではありません。心から人をおもいやり、勇気を持って行動に移す人々が必要なのです。

ボランティア活動

当社は、企業理念につながる医療関係のボランティアプログラムを実行することを通して、従業員が変化をもたらす力をつけるよう支援しています。当社は、地域のチームやパートナーと密に協力し、サービスを提供するコミュニティにとって最も重要で、かつ影響力の大きい機会に注力します。

オーストラリアでは、2024 年 7 月に、当社の慈善・ボランティア活動委員会が、「パッション・プロジェクト・プログラム」を開始しました。このプログラムは、従業員が熱心に

携わる登録慈善団体を支援したいと思うときに、資金援助、製品寄付、ボランティア活動、コミュニケーションチャネルへのアクセス、あるいはリーダーのメンター制度を通して、彼らを支援できるようになっています。この期間中、Medline Australia は、フードバンク・オーストラリアへの食品寄付を含む 4 件の意義あるプロジェクトを支援しました。合計で 400 キロを超える食料品と日用品が集められ、パッキング作業の日には、10,800 キロを超える食品と飲料が箱詰めされ、配布されました。

製品寄付

Medline は世界的な人道支援団体である Direct Relief とパートナーシップを組み、未使用の医療製品や余剰品を、世界各地の十分な医療を受けられない地域に届けています。この継続的な協力関係に基づき、Direct Relief は、当社が寄付した用品が、疾病、貧困または災害により緊急の健康問題に直面するコミュニティに確実に届くように手配をします。

Medline のコミュニティエンゲージメントの取り組みの根幹をなすのは、有意義なパートナーシップ、従業員が主導する取り組み、そして弱い立場の人々にターゲットを絞った支援です。ボランティア活動、非営利団体との戦略的な協力、および世界各地での製品の寄付を組み合わせることによって、当社は医療システムの強化、および医療が最も必要とされる場所での医療へのアクセスの改善に取り組んでいます。こうした取り組みは、現場における人を中心としたアプローチを反映しており、Medline がサービスを提供するコミュニティにおいて、持続的で前向きな影響を及ぼしています。



年間最優秀ボランティア賞

当社は、Meera Viruru を、Medline の 2024 年最優秀ボランティアとして表彰することを誇りに思います。この栄誉は、卓越したボランティア活動とコミュニティへの貢献を称え、当社のサステナビリティチームが授与するものです。本賞を授与される資格を持つ従業員は、Medline のボランティアプラットフォームに記録されたボランティア活動時間に基づき、上位 10% に入る方々です。そして、Meera はこの基準をまさに体現されています。2024 年、彼女は複数の組織において 60 時間を超えるボランティア活動を行いました。これには、余剰品を地域の慈善団体に再配分する非営利団体である GiveNKind が含まれます。彼女の献身は、支援を必要とするコミュニティをサポートしただけでなく、必要な物資をゴミ処理場に送ることなく有効活用することで、廃棄物の削減にも貢献しました。

コミュニティエンゲージメント (続き)

慈善寄付

Medline において、社会への還元は、当社の本質のまさに一部となっています。弱い立場のコミュニティを支援することは、当社のプログラムの価値観に組み込まれており、それは当社の世界での事業への取り組み方に反映されています。企業の社会的責任は、最も必要とされる場所で行動を起こすことであるというのが当社の信念です。チームが思いやり、目的、および影響力を持ってそうした活動を主導できるよう、当社は支援をしています。当社は、グローバル慈善寄付方針に従い、金銭支援か現物支給かを問わず、あらゆる取り組みにおいて、高い基準の透明性、倫理、および公平性を守っています。

当社の慈善プログラムは、世界中の多くのオフィスで展開しています。それぞれがその地域の課題に対応するように調整される一方で、健康の公平性とコミュニティのウェルビーイングという共通のミッションも推進しています。

- 日本では、2024 年 1 月、能登半島地震発生後、Medline は即座に対応し、540 着のスクラブセット、96 着のラッキージャケット、300 着のアイソレーションガウンを、地域の 2 病院に寄付し、危機的であった医療の継続を支援しました。
- インドのチームは教育の公平性に重点を置き、150 台のノートパソコンをプネーにある 7 つの NGO に寄付しました。また、3 歳から 14 歳の児童の読み書き能力を高めるため、教材を装備した移動学習バスのスポンサーとなりました。

- カナダでは、医療関係の支援を行い、ヘルス・パートナーズ・インターナショナル・カナダ (HPIC) に用品を寄付しました。この組織は、弱い立場のコミュニティの子どもと家族の健康アウトカムの改善に取り組んでいます。
- 欧州では、当社の検査用手袋部門のサポートにより年に 1 度の乳がん啓発キャンペーンを今年も実施しました。2024 年、この取り組みは現金の寄付で 1 万ユーロを集めました。さらに、モーベンバー財団への寄付として追加で 6,000 ユーロが集まりました。



医療アクセスと適正な医療費



災害救援を通じた医療アクセス

Medline では、医療へのアクセスを拡大することに注力しています。より健康的な生活を送る機会是谁にでもあるべきだと信じているからです。企業の社会的責任は単なるプログラムではありません。それは、当社の日々の事業への取り組み方に組み込まれています。当社のチームは、世界全体で、医療格差の解消と十分な医療を受けられないコミュニティの支援に取り組んでいます。

この医療へのコミットメントは、長期的な取り組みに留まらず、危機に際して迅速な対応を行う推進力にもなります。Medline のサプライチェーンの幅広さは、危機発生時にこそ活かすことができます。コミュニティの災害や緊急の医療崩壊に即時に支援することができます。世界に広がる当社の配送ネットワークと、MedTrans の保有車両によって、インフラが損なわれ、医療の継続性が危機的状況下でも、当社では迅速な対応が可能です。

2024 年 10 月、ハリケーン・ヘレンがノースカロライナ州の西部の一部に壊滅的被害を与えた際に、当社のチームは素早い行動に出ました。広範な配送ネットワークと MedTrans の保有車両を活用し、被害を受けたインフラを迂回するように配送ルートを変更し、医療従事者が患者ケアを中断する事なく続けられるよう支援しました。これは、単なるサプライチェーンの対応ではなく、コミュニティが困難に直面した時には必ず支援するという当社の使命を反映したものでした。

Medline は、重要な医療用品の配送に加え、現地で活動する非営利団体への資金援助や物品寄付を行いました。これにより、必要不可欠な医療サービスと製品へのアクセスを確保し、支援が必要な個人や家族に届くよう尽力しました。こうしたパートナーシップは、当社の影響力を医療の枠を越えて拡大させました。それによって、被災したコミュニティの幅広いニーズを支え、「企業の寄付は即時かつ意義のあるものでなければならない」という当社の信念をさらに強固なものにしました。

自然災害、世界的な混乱、あるいは緊急の地域ニーズのどれに対応するにせよ、Medline はその広範囲な在庫、柔軟な配送ネットワーク、そして MedTrans の保有車両を活用して、即座に適応します。注文品の配送経路を変更し、追加の用品を確保し、重要な製品の流れを維持します。

Medline において、コミュニティの支援は、当社の事業運営の中核部分をなしています。当社のサプライチェーンは、効率性を推進するためだけのものではなく、影響力を及ぼす役割もあります。これにより、安定性、思いやり、そして医療を、最も必要とする人々に届けることが可能になります。

1 件 1 件の配送の背景には、輸送、在庫管理、および倉庫運営に関わる各専門チームによる連携した取り組みがあります。彼らの取り組みは、当社の慈善活動が、災害支援、非営利組織とのパートナーシップ、あるいはコミュニティの健康増進への取り組みのいずれにせよ、に卓越した運営能力によって支えられていることを示しています。

Medline は、レジリエンスと周到な準備を中核とし、変化がどのようなものであれ、迅速かつ思いやりを持って対応する能力を強化し続けます。当社のインフラに継続的に投資し、コミュニティとの関係を深め、サプライチェーン全体にイノベーションを起こすことによって、当社の影響力を拡大し、すべての人々のためにさらに強靱で公平な医療システムを構築することを目指します。

サプライヤーインクルージョン

Medline では、当社が顧客にどのようにサービス提供しているかを、定期的に評価しています。これには、調達方法が含まれます。当社は、2025 年よりサプライヤーインクルージョンプログラム (SIP) を正式に開始します。これは、調達に対するよりスマートで戦略的なアプローチで、Medline が様々な規模感やバックグラウンドのあるサプライヤーと協働する機会を創出します。SIP は、より強く強靱で、当社と顧客の成長を支援するサプライチェーンを構築することを目的に開発されました。本プログラムが正式にスタートするのは 2025 年ですが、2024 年には既に基礎が築かれていました。これは、インクルーシブな調達力を実証する、影響力のある関係を通して築かれたものです。

サプライヤーインクルージョンが重要な理由

サプライヤーインクルージョンプログラムは、Medline が以下を行うことを支援します。

- パートナードシップの新たな機会を作り、顧客の進化する期待に応えます。
- 当社のサプライヤー基盤を拡大することによって、サプライチェーンのレジリエンスを高めます。
- 新たな発想とニッチな能力を通じて、イノベーションを推進します。
- コミュニティと当社の事業の両方を強化する、地域への影響力を生みます。

SIP が含むもの

このプログラムは、以下に機会を提供します。

- 不利な立場にある人間が経営する小企業
- 地域および州が認め、認定を受けた企業（例：HUB、BEP）
- 社会的企業およびミッションを重視する組織

このプログラムでは、サプライヤーに対して、人種、性別、またはその他の法的に保護された特性または地位に基づく差別をしないことを求めます。当社の目的は、機会へのアクセスを公平にし、当社がサービスを提供するコミュニティを反映したサプライチェーンを構築することです。

目的を持った手袋：SYNAメディカルとのつながり

今年、当社は、コロナ禍の中で設立された女性が経営する企業である、SYNA メディカルとの関係を深めました。SYNA の独占販売パートナーとして、Medline は同社の新規市場への販売拡大を支援します。これに対して Medline は、SYNA とのパートナーシップのお陰で、インクルーシブ調達を重視する新しい顧客に、より良い支援ができるようになります。このパートナーシップは両者が成功する好例です。SIP は、このような例を大きな規模で再現することを目指しています。



地域の力、全国へのリーチ：サービスパートナーをエンパワーする

こちらも 2024 年、当社の ReNewal 事業が、テキサス州での単回使用機器の回収を支援するため、Possible Missions のようなサービス指向企業との連携を継続し、事業の成長を果たしました。この関係からは、アジリティ、信頼性、およびコミュニティのインサイトを得ることができました。こうした属性によって、当社のサービスが向上し、SIP によって拡大しようと計画しているモデルのヒントを得ることができました。



SASBコンテンツ索引

医療機器・医療用品の基準

SASB トピック	会計指標	測定単位	コード	対応
適正な医療費と価格設定	各製品の価格情報を顧客または代理店に開示する方法の説明	説明および分析	HC-MS-240a.2	当該指標の 2024 年度実績は非開示としました。
	製品ポートフォリオ全体の（1）加重平均定価および（2）加重平均正味価格における前報告期間との比較に基づく変動率	パーセント（%）	HC-MS-240a.3	当該指標の 2024 年度実績は非開示としました。
製品の安全性	リコール件数、リコールユニット総数	数	HC-MS-250a.1	米国食品医薬品局（FDA）による医療機器のリコールについては、 ここをクリックしてください 。FDA による薬物のリコールについては、 ここをクリックしてください 。Medline の各法人は、リコールに関する現地の法令および規制を完全に遵守します。
	公的な医療製品の安全性または有害事象の警告データベースに記載されている製品	説明および分析	HC-MS-250a.2	FDA の MedWatch 安全性アラート（医薬品）にリストされている製品については、 ここをクリックしてください 。
	製品に関連する死亡者数	数	HC-MS-250a.3	Medline は医療機器不具合（MAUDE）について、FDA が要求するデータをすべて報告しています。Medline の情報については、 MAUDE データベースをご覧ください 。
	適正製造基準（GMP）または同等の基準の違反に対して実施された強制措置の件数（種類別）	数	HC-MS-250a.4	FDA による強制措置の件数については、 ここをクリックしてください 。
倫理的なマーケティング	虚偽のマーケティングクレームに関する法的手続による金銭的損失の総額	表示通貨	HC-MS-270a.1	当該指標の 2024 年度実績は非開示としました。
	製品の適応外使用のプロモーションを管理する倫理規定の説明	説明および分析	HC-MS-270a.2	製品の適応外使用のプロモーションは厳しく禁じられています。米国では、当社製品の適応外使用に関する未承諾の要求に対処するため、コーポレートメディカルアフェアーズチームが設置されています。

SASBコンテンツ索引 (続き)

SASB トピック	会計指標	測定単位	コード	対応
プロダクトデザインと ライフサイクルマネジメント	製品に含まれる化学物質に関連する環境および人の健康面 への考慮を評価・管理し、持続可能な製品に対する需要に 応えるプロセスの説明	説明および分析	HC-MS-410a.1	<p>サステナビリティ報告書 2024 P27「責任ある製品」</p> <p>Medline は、環境フットプリントの低減を目指しています。責任ある製品ポートフォリオの ために設定された厳格な基準は、環境と健康への責務を推進します。こうした製品の基準 は、法規制に基づき定められています。</p>
	回収・再利用、リサイクル、または寄付された製品の総量と (1) 医療機器、(2) 医療用品による内訳	トン (t)	HC-MS-410a.2	<p>サステナビリティ報告書 2024 P32「責任あるプログラム」 サステナビリティ報告書 2024 P42「慈善寄付」</p> <p>Medline は、米国内において再使用を目的とした単回使用医療機器の回収と再処理、およ び医療用品の寄付を毎年行っています。</p> <p>2024 年、Medline ReNewal は同プログラムの施設において、220 万点を超える医療機器 の再処理を行いました。</p>
サプライチェーンマネジメント	製造および製品品質に関する第三者監査プログラムに参加 している (1) 事業体の施設および (2) 一次サプライヤーの 施設の割合	パーセント (%)	HC-MS-430a.1	当該指標の 2024 年度実績は非開示としました。
	流通チェーン内のトレーサビリティを維持するための取り組 みの説明	説明および分析	HC-MS-430a.2	<p>サステナビリティ報告書 2024 P17「サプライチェーン内でのトレーサビリティ」</p> <p>当社のグローバルサプライチェーンは、Medline 所有の施設に加え、顧客に高品質な製品 を提供する体制を支えるサードパーティーのメーカーおよびサプライヤーとのパートナーシッ プが含まれます。</p>
	クリティカルマテリアルの使用に伴うリスク管理に関する 説明	説明および分析	HC-MS-430a.3	<p>サステナビリティ報告書 2024 P16「エシカルソーシング」</p> <p>Medline は、労働者の安全と福祉に影響を及ぼす可能性のある状況を厳しく監視していま す。弱い立場の労働者が搾取のリスクにさらされやすい産業、身体的負荷または安全上の 懸念を伴う作業、第三者の人材派遣会社を通じて臨時または契約労働者を使用する場合、 および現地の労働基準が当社の倫理的要件を満たさない可能性のある地域においては、サ プライヤーと仕事する際に、特に警戒を高めています</p>

SASBコンテンツ索引 (続き)

SASB トピック	会計指標	測定単位	コード	対応
企業倫理	賄収賂または腐敗に関する法的手続による金銭的損失の総額	表示通貨	HC-MS-510a.1	当該指標の 2024 年度実績は非開示としました。
	医療専門家との交流に関する倫理規定の説明	説明および分析	HC-MS-510a.2	サステナビリティ報告書 2024 P15「行動・倫理規範」 サステナビリティ報告書 2024 P15「贈収賄防止と腐敗防止」

活動指標	測定単位	コード	要件
商品カテゴリー別販売数	数	HC-MS-000.A	Medline は 2024 年度のこの指標の業績を開示しないことを決定しました。*

* Medline は公開企業ではなく、この情報は公表されていません。

SASBコンテンツ索引 (続き)

医療品流通 2023-12

SASB トピック	会計指標	測定単位	コード	対応
輸送保有車両燃料の マネジメント	輸送重量燃費	ガロン、トン（米国）、マイル、 またはリットル／ RTK	HC-DI-110a.1	MedTrans の保有車両に関する詳細は、medline.com をご覧ください。
	物流による環境への影響を軽減する取り組みの説明	説明および分析	HC-DI-110a.2	<div>サステナビリティ報告書 2024 P22「サプライチェーンのレジリエンス」</div> <div>Medline の MedTrans の保有車両は、ルートを最適化し、運行回数を削減し、燃費を向上させることによって、排出量低減に取り組んでいます。また、自社保有車両に電気自動車を導入することも開始いたしました。</div>
製品の安全性	製品の安全性に関する法的手続による金銭的損失の総額	表示通貨	HC-DI-250a.1	Medline は 2024 年度のこの指標の業績を開示しないことを決定しました。
	毒性／化学物質の安全性、高い乱用の可能性、または配送過程における販売製品の健康および安全衛生リスクを最小化するための取り組みの説明	説明および分析	HC-DI-250a.2	<div>サステナビリティ報告書 2024 P28「製品の安全性、製品表示とマーケティング」</div> <div>Medline は、製品の安全な取り扱いと保管を確実に行うため、有毒／化学製品に対して安全データシート（SDS）を提供し、製品の取り扱いおよび曝露管理の体制を整えています。安全データシートは、medline.com でご覧ください。</div>

SASBコンテンツ索引 (続き)

SASB トピック	会計指標	測定単位	コード	対応
偽造医薬品	流通チェーン全体で製品のトレーサビリティを維持し、偽造を防止するための方法と技術の説明	説明および分析	HC-DI-260a.1	<p>サステナビリティ報告書 2024 P17「サプライチェーン内でのトレーサビリティ」</p> <p>当社のグローバルサプライチェーンには、Medline 所有の施設に加え、顧客に高品質な製品を提供する体制を支えるサードパーティーのメーカーおよびサプライヤーとのパートナーシップが含まれます。</p>
	医薬品および医療機器のサプライヤーの認定のためのデューデリジェンスプロセスの説明	説明および分析	HC-DI-260a.2	<p>サステナビリティ報告書 2024 P16「エシカルソーシング」</p> <p>サプライヤーが Medline サプライヤー倫理規範を遵守していることを確認するため、継続的なリスク評価、社会的責任監査、および是正措置計画を実施しています。2024 年、世界全体のコンプライアンスを向上させるために、サプライヤーデューデリジェンスプロセスが強化され、新たな規制やエシカルソーシング基準に準拠する体制が整えられました。</p>
	偽造品に関連する潜在的または既知のリスクを顧客およびビジネスパートナーに警告するプロセスの説明	説明および分析	HC-DI-260a.3	<p>サステナビリティ報告書 2024 P28「製品の安全性、製品表示とマーケティング」</p> <p>偽造に関して既知のリスクがある場合、Medline は適用されるすべての規制を遵守した正式なリコールプロセスを開始します。専門のリコールチームが規制当局に通知し、顧客へのアラートを発します。</p>
製品ライフサイクル マネジメント	ライフサイクル全体を通してパッケージングの環境への影響を低減する戦略の説明	説明および分析	HC-DI-410a.1	<p>サステナビリティ報告書 2024 P30「責任あるパッケージング」</p> <p>サステナビリティ報告書 2024 P29「ライフサイクルアセスメント」</p>
	回収・再使用、リサイクル、または寄付された製品の量(重量)	トン (t)	HC-DI-410a.2	<p>サステナビリティ報告書 2024 P31「責任あるプログラム」</p> <p>サステナビリティ報告書 2024 P42「慈善寄付」</p> <p>Medline は、米国内において再使用を目的とした単回使用医療機器の回収と再処理、および医療用品の寄付を毎年行っています。</p> <p>2024 年、Medline ReNewal は同プログラムの施設において、220 万点を超える医療機器の再処理を行いました。</p>

SASBコンテンツ索引 (続き)

SASB トピック	会計指標	測定単位	コード	対応
企業倫理	利益相反と非倫理的なビジネス慣行を最小限に抑えるための取り組みの説明	説明および分析	HC-DI-510a.1	サステナビリティ報告書 2024 P16「倫理とコンプライアンス」 Medline の企業倫理・コンプライアンスプログラムは、誠実さ、倫理的な意思決定、企業方針・手順、適用される法令、およびその他の関連基準への遵守を重視する企業文化を明確に示しています。これは、Medline の行動・倫理規範およびサプライヤー行動規範によって支えられています。
	賄収賂、腐敗、またはその他の非倫理的なビジネス慣行に関する法的手続による金銭的損失の総額	表示通貨	HC-DI-510a.2	Medline は 2024 年度のこの指標の業績を開示しないことを決定しました。

活動指標	測定単位	コード	要件
医薬品ユニットの製品カテゴリー別販売数	数	HC-DI-000.A	Medline は 2024 年度のこの指標の業績を開示しないことを決定しました。
医療機器の製品カテゴリー別販売数	数	HC-DI-000.B	Medline は 2024 年度のこの指標の業績を開示しないことを決定しました。

用語集

用語／略語	定義／文脈
ABAC	贈収賄防止と腐敗防止
CEO	最高経営責任者 (CEO)
CO2e	二酸化炭素換算値 (カーボンフットプリントを計測する際の標準単位)
CSRD	企業サステナビリティ報告指令 (EU 規制)
EAP	従業員支援プログラム
EMERGE	Medline の米国におけるメンターシッププログラム
ERG	従業員リソースグループ
ERM	全社的リスクマネジメント
ESG	環境・社会・ガバナンス
FDA	米国食品医薬品局
GHG	温室効果ガス
GAT	グローバル・アラインメント・チーム
HIRC	医療産業レジリエンス・コラボレイティブ
ISO	国際標準化機構
ISMS	情報セキュリティマネジメントシステム
LCA/LCAs	ライフサイクルアセスメント
LEED	環境に配慮した建物を評価する認証制度
MDSAP	医療機器単一調査プログラム

用語／略語	定義／文脈
MIBV	Medline International B.V. (Medline の国際的事業体)
NIST	米国立標準技術研究所
OECD	経済協力開発機構
OptiView®	Medline の透明な皮膚用保護パッド製品
PAR	定期的自動補充 (在庫管理システム)
PrefConnect ™	手術用プレファレンスカード管理・分析プラットフォーム
QMS	品質管理システム
ReNewal	単回使用医療機器を再処理することを目的とした Medline のプログラム
S.A.F.E.	従業員のための安全意識向上 (カナダの取り組み)
SASB	米国サステナビリティ会計基準審議会
SDGs	持続可能な開発目標 (国連)
SmartBoX ™	Medline による手袋のパッケージングの持続可能なイノベーション
TCFD	気候関連財務情報開示タスクフォース
UL Zero Waste Certification	廃棄物の 90% 以上を埋め立て処分せずに処理している施設に対する認証
WRAP	世界規模の責任ある認定生産